

取扱説明書

保証書付き
(裏表紙に付いています)

AQUA

全自動電気洗濯機 家庭用

品番 **AQW-VP10A** (10kgタイプ)
AQW-VP9A (9kgタイプ)
AQW-VP8A (8kgタイプ)



このたびは、全自動電気洗濯機をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。

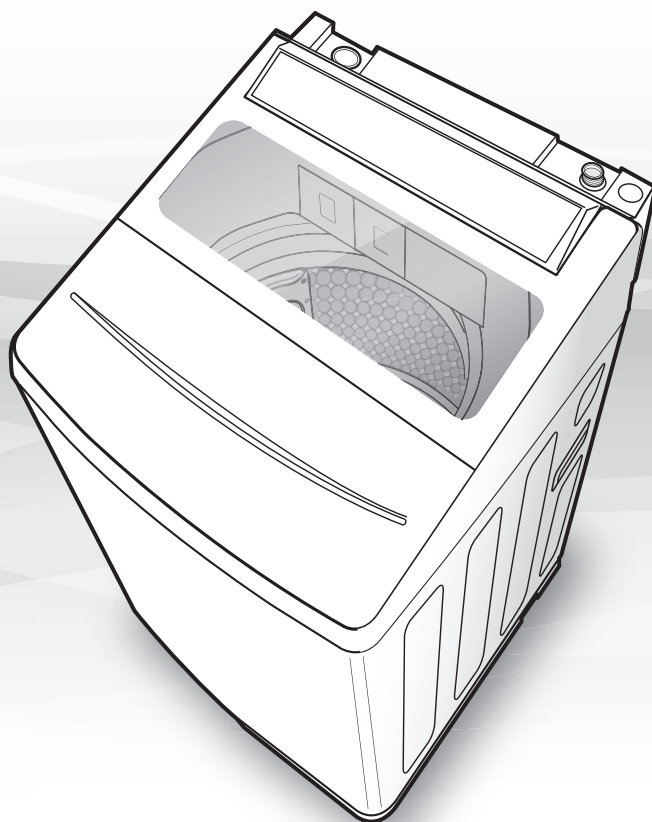
お読みになった後は、据付説明書、かんたんガイド、余った付属品などと一緒に大切に保管してください。

上手に使って上手に節電

使いかたを
動画で確認



URL <https://aqua-has.com/lp/laundry/vpseries/howto/>



ご愛用者登録の
お願い

下記のURLより愛用者登録とアンケートのご記入をお願いいたします。
<https://aqua-has.com/support/reg/>



もくじ

ご使用の前に

環境に配慮した使いかた	3
長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について	3
安全上のご注意 (必ずお守りください)	4
各部のなまえ／付属品	7
操作パネル部のはたらき	8
洗濯の前に	10
洗濯の流れと機能 (やさらか脱水 ほぐし仕上げ お手入れ(カビケア／槽乾燥) 槽洗浄お知らせ)	12
《自動投入》洗剤・柔軟剤の使いかた	15
《手動投入》洗剤・柔軟剤などの入れかた (予約時の洗剤類の入れかた 石けんの入れかた)	18
洗剤類の使用量【目安】(自動投入／手動投入)	20
コースの選びかた	22
コース内容と所要時間【目安】	24
ふたロック／チャイルドロック	26

使いかた

洗濯する (標準 おいそぎ 念入り ジェルボール シワ低減)	27
自分流の運転内容を記憶させる (自分流)	28
泥などの汚れを2度洗いでスッキリ落とす (2度洗い)	29
デリケートな衣類を洗濯する (おしゃれ着)	30
毛布・ふとんを洗濯する (ふとん・毛布)	32
風乾燥をする	34
コースの運転内容を変更する【好み設定】	36
風呂水を使って洗濯する	38
予約運転をする	40

必要なとき

こんなとき ■自動で決まる水量を増やしたい／減らしたい ■水を追加したい ■洗いの水流を強くしたい(強水流) ■脱水が弱いと感じる(脱水時間の延長) ■終了ブザー音を消したい ■のりづけをしたい ■凍結のおそれがある	41
お手入れ ■洗濯・脱水槽(槽洗浄) ■自動投入タンク・経路 ■手動投入容器(液体洗剤用ケース) ■糸くずフィルター ■風呂水吸水ホース ■浄化フィルター ■風呂水吸水口 ■本体 ■排水口 ■給水口	44
据え付け	50
故障かな?	58
こんな表示がでたら 修理を依頼する前に	62
別売部品	64
仕様	65
保証とアフターサービス	65
お客さまご相談窓口	66

裏表紙

環境に配慮した使いかた



■風呂水を使う ➡ P38～39

風呂水を「洗い～すすぎ1」まで使用すると水道水のみに比べ節水できます。

■ためすすぎをする ➡ P25・36～37

注水すすぎに比べ節水できます。

本製品は洗濯量に応じて水量を無段階に自動設定します。洗濯物を入れ、スタートすると布量センサーがはたらき、適切な水量を設定します。



■まとめ洗いをする

洗濯回数が減ります。

本製品は待機時消費電力(電源を「切」にした状態の電力)が、0(ゼロ)になっています。



■軽い汚れ*の場合、洗剤量を控えめにする

*軽い汚れとは、脂分をほとんど含まない汗やほこりのような汚れのことです。

■洗剤を入れすぎない

AQW-VP9A、AQW-VP8A をお買い上げのお客さまへ

本書はAQW-VP10Aを基準に記載しています。

AQW-VP10Aの洗濯・脱水容量10kgに対して、AQW-VP9Aは9kg、AQW-VP8Aは8kgのため、水量・所要時間が異なりますが使いかたは同じです。

説明イラストは、AQW-VP10Aを使っています。

長期使用製品安全表示制度に基づく 本体表示について

〈本体への表示内容〉

経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために、電気用品安全法で義務付けられた右記の表示を本体に行っています。

〈設計上の標準使用期間とは〉

- ・ 運転時間や温湿度など、右記の標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。
- ・ 設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また、一般的な故障を保証するものでもありません。

〈経年劣化とは〉

- 長期間にわたる使用や放置にともない生ずる劣化をいいます。
- 設置状況や環境、使用頻度が右記の条件と異なる場合、または、業務用など本来の使用目的以外でご使用された場合は、7年より短い期間で故障したり、経年劣化による発火・けがなどの事故に至るおそれがあります。

【製造年】(本体に西暦4桁で表示してあります)

	【設計上の標準使用期間】7年 設計上の標準使用期間を超えて使用されますと、経年劣化による発火・けがなどの事故に至るおそれがあります。
--	--

■標準的な使用条件：JIS C 9921-4による

区 分	項 目	条 件
環境条件	電 圧	100V
	周波数	50Hz-60Hz
	温 度	20℃
	湿 度	65%
	設置条件	P50～57の記載内容による標準設置
負荷条件	負 荷	標準容量
	コース	標準コース
	給水圧力	0.03～0.8MPa
	給湯・給水温度	20℃±15℃
使用時間 及び回数	1日の平均使用回数	1.5回
	1回の使用時間	標準コースの時間
	1年間の使用日数	365日
	1年間の使用回数	1.5回×365日=547.5回/年

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



警告

死亡や重傷を負うことが想定される内容です。



注意

傷害や物的損害の発生が想定される内容です。

■お守りいただく内容を次の表示で区分し、説明しています。



してはいけない
「禁止」内容です。



必ず実行していただく
「強制」内容です。

※お読みになった後は、お使いになるかたがいつでも見られるところに必ず保管してください。



警告

本体／洗濯・脱水槽



- 子供を洗濯・脱水槽内に入らせない
(感電・けが・おぼれる原因)
- 子供には洗濯・脱水槽をのぞかせない
本体の近くに台などを置かない
子供など不慣れなかただけで使わせない
(洗濯・脱水槽への落下によるけがの原因)
- 回転中の洗濯・脱水槽に手などを入れない
完全に止まるまでは、絶対に触らないでください。
ゆるい回転でも洗濯物が手に巻き付くことがあります。
(けがの原因)

特に子供には注意してください

チャイルドロック ➡ P26

- 分解・修理・改造は絶対にしない
(火災・感電・けが・水もれの原因)
修理はお買い上げの販売店、または当社
[修理相談窓口] ➡ P66にお問い合わせください。
- お手入れなどで、本体各部に直接水をかけない
(感電・漏電火災の原因)
- 火気を近づけない
ローソク・タバコ・蚊取り線香など
(火災・変形の原因)
- 引火物や、引火物の付着した洗濯物を
洗濯・脱水槽に入れたり近づけたり
絶対にしない
引火物：灯油・ガソリン・ベンジン・シンナー・
アルコールなど引火性のあるもの
(爆発・火災の原因)
- 本体上面に磁石など磁気を帯びたものを
近づけない
(上ぶたが開いた状態での誤動作による)
(けがの原因)



- 動かない・煙が出た・変な臭いや音がするなどの異常を感じたら、すぐに電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店に点検・修理を依頼する
(感電・漏電・ショートによる火災の原因)

電源プラグ・コード



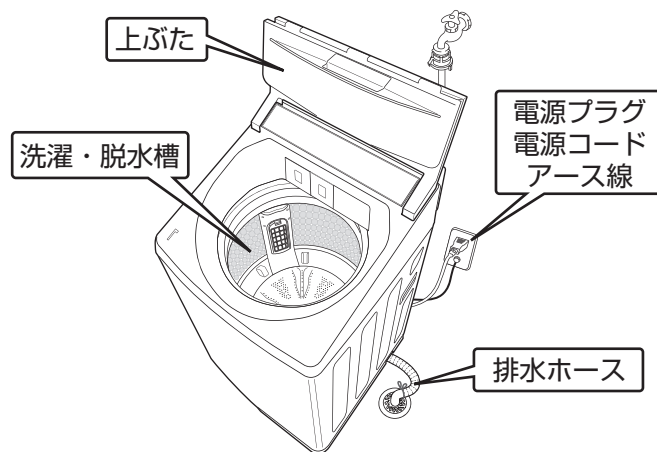
- 電源プラグや電源コードが傷んでいるときや、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない
(感電・ショート・発火の原因)
- 傷付け・加工・破損・無理な曲げ・たばねる・引っ張る・ねじる・重いものをのせる・はさみ込むなどしない
(破損による火災・感電の原因)
- めれた手で抜き差ししない
(感電の原因)
- 延長コードは使用しない
(火災・感電の原因)
- テーブルタップによるタコ足配線はしない
(火災・感電の原因)
- 定格15A以上・交流100Vのコンセントを単独で使う
電源プラグは根元まで確実に差し込む
(火災・感電の原因)
- 定期的に電源プラグのほこりなどを乾いた布で拭き取る
(ほこりがたまり湿気などで絶縁不良となり、火災の原因)
- 電源プラグをコンセントから抜くときは、電源コードを持たず電源プラグを持って抜く
(感電・ショート・発火の原因)
- お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜く
(感電・けがの原因)
- 長期間使わないときは、電源プラグをコンセントから必ず抜く
(絶縁劣化による感電・漏電火災の原因)



風呂水



- 風呂水吸水ホースで灯油・ガソリンなど水以外のものを吸い込まない
(爆発・火災の原因)



警告

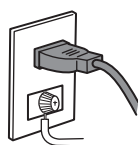
据え付け



- 浴室などの湿気の多い場所や風雨にさらされる場所には据え付けない
(感電・漏電火災の原因)



- アースを確実に取り付ける
(故障・漏電による感電の原因)
アース工事は、必ずお買い上げの販売店または電気工事店にご依頼ください。
工事費は本体価格には含まれません。



- 底部から手足が入る場合は、付属の底カバーを取り付ける
(回転部などで手足のけがや感電の原因)

上ぶた



- ロックしている上ぶたを無理に開けない
(上ぶた・ロック機構の破損、けがの原因)
- 上ぶた(ガラス面)に物を落としたり、衝撃を加えたりしない
上ぶた(ガラス面)の上に乗ったり、物を置いたりしない
(破損(割れ・傷・ひび)によるけがの原因)
万一、ガラスが破損した場合は使用を中止し、すぐにお買い上げの販売店に修理を依頼してください。
- 本体の上にのぼったり、物を置いたりしない
(変形・破損によるけがの原因)

注意

据え付け



- 直射日光のあたる場所には据え付けない
(プラスチック部品の変色・変形の原因)
- 冬期に凍結のおそれのある場所には据え付けない
- 平らでない床・弱い床・タイルなどのすべりやすい床の上には据え付けない
振動や騒音が大きくなります。床が弱いときは、お買い上げの販売店にご相談ください。
- ブロック・レンガ・角材やキャスター付きの台の上などの不安定な場所には据え付けない
(振動や騒音、本体が倒れる原因)
- 高い置台の上には据え付けない
(振動による本体の落下により、けが、本体・壁・床の破損、水もれなどの原因)



- 排水ホースの付け換え時には、必ず手袋をする
(けがの原因)

本体



- 運転中、本体の下に手足を入れない
(けがの原因)

上ぶた



- 上ぶたの折れ曲がり近くに手を置いたまま、上ぶたを開閉しない
(手や指をはさむことによるけがの原因)

給水



- 50℃以上のお湯は使わない
給湯器とつながない
(プラスチック部品の変形・傷みによる感電・漏電・水もれの原因)
- さび・砂鉄の含まれる水は使わない
(井戸水・さびた給水管などの使用は)
(水もれ・給水異常・故障の原因)

安全上のご注意 (つづき)

必ずお守りください

⚠ 注 意

運転前後



- 運転前は水栓を開き、水もれがないか確認する
(水もれの原因)
- 運転終了後は、水栓を必ず閉じる
(水もれの原因)

風呂水



- 風呂水は、本体が浴槽の水面より低い場所では使わない
(サイフォン現象により、水が出続ける原因)
- 浄化フィルターを浴槽に入れたまま吸水つぎ手ははずさない
(サイフォン現象により、水があふれ出し、床をぬらす原因)



洗濯物



- 防水性のマット・シートや衣類、足拭きマットなどの固くて厚いもの、水を通しにくい繊維製品は、洗い・すすぎ・脱水・風乾燥をしない
(洗濯物の飛び出し、異常振動によるけが、本体・壁・床などの破損、衣類の損傷、水もれ被害などの原因)

例

足拭きマットなど固くて厚いもの、寝袋、オムツカバー、サウナスーツ、ウエットスーツ、雨ガッパ、カーペット、スキーウェア、ウインドブレーカー、自転車・バイク・自動車のカバー、防水シートなど、その他、防水性の水を通しにくいもの

■防水性衣類の確認方法

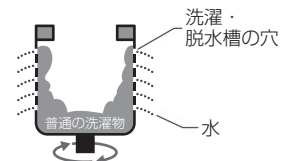
衣類に口を当て、息を吹き付けて息が通らない場合は、防水性衣類です。



脱水のご注意

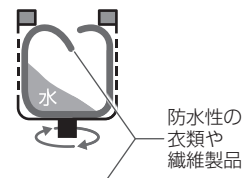
■普通の洗濯物

洗濯物の水は洗濯・脱水槽の穴から抜け出る



■防水性の衣類・繊維製品

洗濯・脱水槽が回転しても水が防水性の衣類や繊維製品から抜けないため、水が片寄って大振動を引き起こす



洗濯・脱水槽が高速回転しても水が防水性の衣類や繊維製品から抜けないため、水が上に移動して大振動とともに飛び出る



洗剤や柔軟剤が付着したら…



すぐに拭き取る

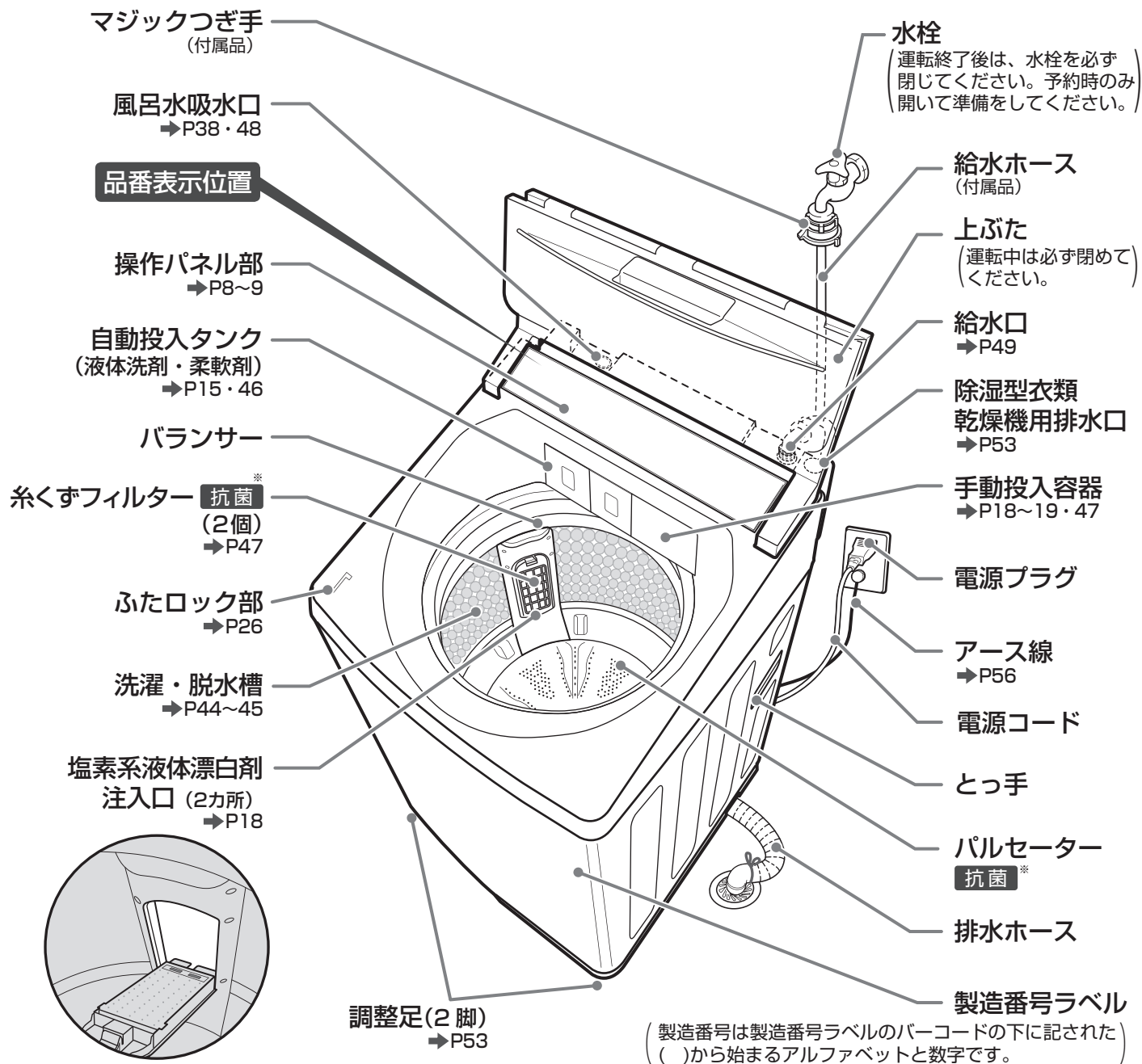
ご注意

- プラスチック部分に洗剤・柔軟剤・漂白剤が付いた場合は、水を含ませたやわらかい布ですぐに拭き取ってください。放置するとプラスチック部品を傷める原因になります。特に濃縮液体洗剤はプラスチック部品が割れるおそれがあります。

お願い

- 雷が発生したときは、電源プラグをコンセントから早めに抜いてください。落雷により故障することがあります。
- すすぎ・脱水中に上ぶたがロックされない場合や脱水中にふたロックを解除しても洗濯・脱水槽が回転している場合は、直ちに使用を中止し、修理を依頼してください。

各部のなまえ／付属品



安全上のご注意

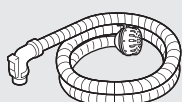
各部のなまえ／付属品

※ 抗菌 について

洗濯物が直接触れる、糸くずフィルター枠、パルセーターに抗菌剤入り樹脂を採用しています。

試験機関	(一財)日本食品分析センター
試験方法	JIS Z 2801 (抗菌加工製品—抗菌性試験方法—抗菌効果)
抗菌方法	抗菌剤を樹脂に練り込み
試験結果	(菌の増殖抑制率)99%以上

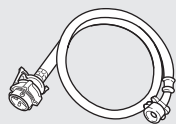
付属品



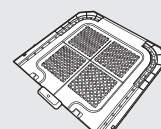
風呂水吸水ホース
(1本・長さ約4m)
→ P38・48



風呂水吸水ホース掛け
(1個)
→ P38



給水ホース
(マジックつぎ手付き)
(1本・長さ約80cm)
→ P54～56



底カバー (1枚)
ネジ (1本) …給水ホースの袋の中に入っています。
→ P51

操作パネル部のはたらき

水量・残時間・予約時間などの表示

水量・洗剤量の目安表示

- 布量検知後、水量を約5秒間、洗剤量の目安を約5秒間表示します。

(例)水量55L、洗剤量0.8杯の場合



残時間

- 運転中は、残り時間を分単位で表示します。

(例)残り34分の場合



99分をこえるとき

100分～2H、10時間 10H、11時間 11H、
12時間 12H と表示します。

予約時間 → P40

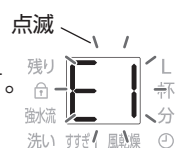
- 予約中は、何時間後に運転が終了するかを表示します。

(例)2時間後に運転が終了する場合



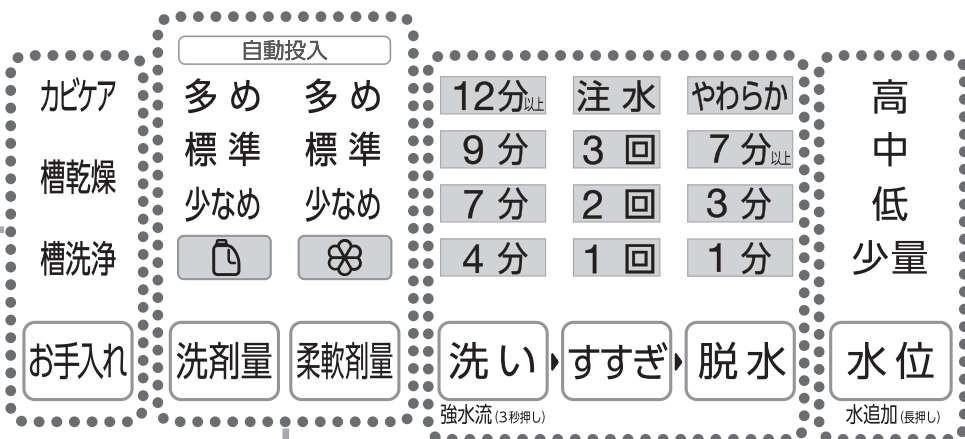
お知らせ表示 → P62～63

- 異常が発生したとき、点滅とブザーでお知らせします。



お手入れ

- お手入れ機能を選ぶときに選んだ機能のランプが点灯します。
 - 「カビケア」「槽乾燥」→ P14
 - 「槽洗浄」→ P24・44～45
- 「槽洗浄お知らせ」→ P14
 - 「槽洗浄」が点滅して、洗濯・脱水槽をお手入れするタイミングをお知らせします。



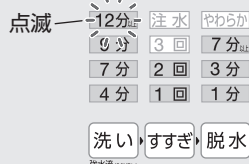
自動投入

洗剤量・柔軟剤量

- 液体洗剤／柔軟剤の自動投入を使うときに → P15～17

運転内容

- お好みの運転内容に変更するときに → P36～37
 - 「洗い」「すすぎ」「脱水」を個別に組み合わせるときに
 - 洗い時間、すすぎ回数・方法、脱水時間などの内容を変更するときに
- 「やわらか脱水」を設定するときに → P13
- 「強水流」を設定するときに → P41
- 運転中の行程は、残時間や残り回数を点滅表示し、残りの行程は点灯します。



水位

- お好みの水位(水量)に変更するときに
 - 運転中(すすぎ終了まで)は、一時停止すると変更できます。水量は表示部で確認できます。
- 設定水量を確認するときに
- 自動で決まる水位(水量)を調節したいときに → P41
- 水を追加するときに → P41
- 水位に対する水量 → P21



お知らせ

- ボタン操作で各種設定（終了ブザー音を消すなど）をすることができます。

こんなとき ➡ P41 ~ 43

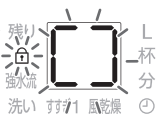
- コースによっては、選べない設定があります。

➡ P22 ~ 25

- 説明のため全ての内容を表示しています。

ふたロック解除中 ➡ P26

- 洗濯・脱水槽の回転中などに電源を切ったとき点滅します。



- 点灯中 上ぶたはロックされ開きません。
- 消灯中 上ぶたを開けることができます。

チャイルドロック ➡ P26

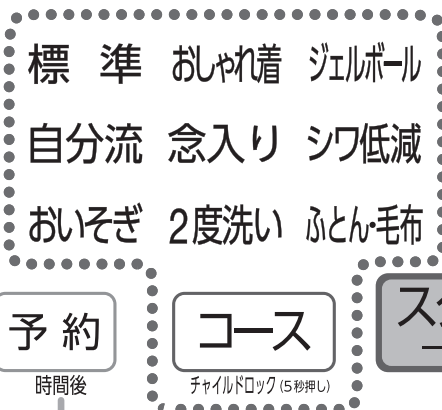
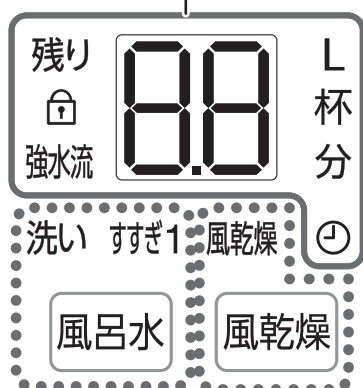
- チャイルドロック設定中です。



- 「槽乾燥」で上ぶたを開けて洗濯物を取り出すとき ➡ P14

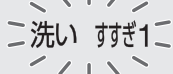


チャイルドロックを設定する ➡ P26



風呂水

- 風呂水を使って洗濯するときに ➡ P38 ~ 39
- 風呂水を正しく吸水しなかった場合に点滅します。



風乾燥

- 洗濯物の干し時間を短縮したいときに ➡ P34 ~ 35
- 洗濯物の種類に応じて時間を選びます。

コース

- コースを選ぶときに ➡ P22 ~ 25
- 選んだコースのランプが点灯します。

予約

- 予約運転をするときに ➡ P40
- 今から何時間後に運転を終了するか設定します。

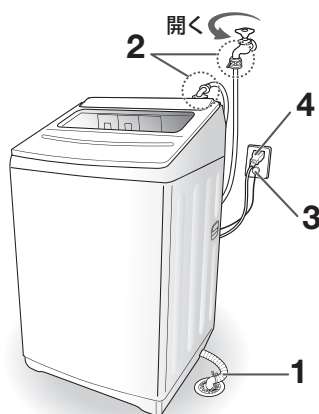
スタート／一時停止

- スタートするときに
- 一時停止するときに もう一度押すと運転を再開します。
- 運転中にふたロックを解除するときに ➡ P26

洗濯の前に

本体の準備

- 1 排水ホースを排水口に差し込む
● 排水ホースの抜けがないか確認してください。
- 2 給水ホースをつなぎ、水栓を開く
● マジックつぎ手や給水ホースの接続部などから、水もれがないか確認してください。
- 3 アースを取り付ける
- 4 電源プラグをコンセントに差し込む



■詳しくは、「据え付け」→P50～57をお読みください。

■風呂水を使うとき→P38～39

洗濯物の準備

洗濯できないもの

(新表示) (旧表示)



左の取扱い表示がある衣類

- 衣類の取扱い表示がないもの、素材が不明なもの
- 芯地を多く使っており、型くずれするもの
ネクタイ・ジャケット・スーツ・つばのある帽子など
- 水につけるだけで著しい収縮や変色、表面変化を起こすおそれのある素材
レーヨン・キュプラおよびその混紡品、絹・ウールなどの中で強撚糸使いの生地（ジョーゼット・クレープ・ちりめんなど）
- 毛倒れするもの
ビロードなどのパイル地

- 表面の凹凸などが消えやすいもの
シワ・エンボス・樹脂加工品など
- 皮革・毛皮、それらの装飾品の付いたもの
- 和服・和装小物
- 色落ちしやすいもの
- 防水性のマット・シートや衣類など →P6
- わたやウレタン(スポンジ類)を使ったもの
座ぶとん・枕・クッションなど

洗濯物を確認する 衣類の傷み、排水異常や故障を防ぐために

衣類の取扱い表示に従う

(新表示)



(旧表示)



表示のあるデリケートな衣類は「おしゃれ着」コースを選んでください。

髪の毛・ペットの毛は落とす

- 本体の故障を防ぐためです。



飾りのある衣類・起毛素材の衣類は裏返して洗う

- 衣類の傷み、毛玉を防ぐためです。



ひもは結ぶ

ボタン・面ファスナーは留める
ファスナーは閉める

- 衣類や本体を傷める原因になります。



洗濯ネットを正しく使う →P11



ポケットの中に何も入っていないことを確認する
カーテンフック・ワイシャツのプラスチッククリップなどは必ず取り除く

- 排水経路に詰まり、故障・異常音・衣類や本体を傷める原因になります。



- 上記の異物などにより故障した場合は、保証の対象外となります。

衣類の取扱い表示(例)

(新表示)(旧表示)



洗濯機で洗濯ができる

(新表示)(旧表示)



手洗いができる

(新表示)(旧表示)



洗濯できない

(新表示)(旧表示)



塩素系および酸素系の漂白剤を使用して漂白ができる

(新表示)(旧表示)



酸素系漂白剤の使用はできるが、塩素系漂白剤は使用禁止

(新表示)(旧表示)



漂白処理はできない

汚れがひどいものは前処理をする

シミ汚れ

- 酸素系液体漂白剤や専用洗剤などを塗る
- 食べ物のシミの場合、付いたらすぐに汚れを取り除く
- ジュース・紅茶・化粧水などが付着した衣類は長時間放置せず、すぐに洗い流す



えり・そで口の汚れ

- 専用洗剤を塗る
または、
- 石けんや洗剤液を付けて、やさしくブラッシングする



泥や砂汚れ

- 乾いた状態でブラシなどで落とす
(本体の故障を防ぐため)
- 石けんや専用洗剤を付けて、もみ洗いをする



洗濯の前に

洗濯物を仕分ける

新しい色柄物・色落ちしやすいもの

◆ 分け洗いのする

色落ち確認方法

洗剤液を含ませた白いタオルなどを目立たない部分に強く押しあて、タオルに色移りがないか確認する



糸くずの付着が気になる衣類

- タオル・バスタオルとは、分けて洗う
- 市販の糸くず防止ネットや細かい網目の洗濯ネットに入れて洗う
- 裏返して洗う

デリケートな衣類や小物類

◆ 洗濯ネットに入れる

衣類を傷めたり、すき間に入ったりして、故障の原因になる場合があります。

- レースの付いた衣類・ランジェリー・ナイロンストッキング・化繊のうす物など
- ワイヤー入りのブラジャーは市販の「ブラジャー専用ネット」に必ず入れる
- くつ下やハンカチなどの小物類



お願い

- ワイヤーなどの芯材が入った洗濯ネットは使わないでください。
- 洗濯ネットに衣類を詰め込みすぎないでください。
- 厚手の衣類を洗濯ネットに入れて洗濯しないでください。異常振動の原因になります。

洗濯物の重さの目安

コースによって洗濯容量が異なります。下表を参考に洗濯容量を超えないようご注意ください。

約50g	約110g	約200g	約300g	約500g	約600g	約800g
 くつ下 (混紡) ブリーフ (綿100%)	 半袖肌着 (綿100%)	 ワイシャツ (混紡) ブラウス (混紡)	 セーター (混紡) バスタオル (綿100%)	 パジャマ上・下 (綿100%)	 ジーンズ (綿100%)	 作業服上・下 (混紡)

洗濯物の入れかた

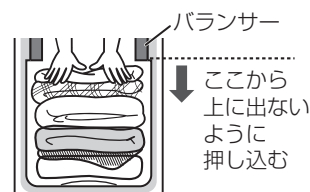
● 水に浮きやすいものやかさばるものから先に入れ、浮かないように均一に押し込む

- 水に浮きやすいもの：くつ下やハンカチなどの小物類、フリースなど化繊100%あるいは混紡衣類、はっ水加工を施したもののなど
 - かさばるもの：カーテンなどの大物、ジーンズ・柔道着など厚手の衣類
- ※給水後に浮いてきたら、一時停止をしてバランスより下に押し込み、水を十分に含ませてください。

● 洗濯物は入れすぎない

洗濯物はバランスより上に出ないように押し込んでください。給水後に浮いてきた場合は、一時停止をしてバランスより下に押し込んでください。

(給水時に水が飛び散り床がぬれる、汚れがよく落ちない、脱水時にはみ出して洗濯物や本体が破損するなどの原因になります。)



洗濯の流れと機能

※「標準」コースの場合

準備する

- 洗濯物の準備をする
➡P10~11
- 水栓を開く
- 洗濯物を入れる

電源切/入 電源を入れる

- 「お手入れ」➡P14
- 「風乾燥」➡P34~35
- 「風呂水」➡P38~39
- 「予約」➡P40
- を必要に応じて選ぶ

自動投入 (自動/手動)を確認する

- 「自動投入を設定する」
➡P17

スタート一時停止 スタートする

- 水のない状態でパルセーターが回転して
布量検知を開始します。

手動投入時は 洗剤類を入れる

- 洗剤・柔軟剤などの入れかた ➡P18~19

上ぶたを閉める

- 給水開始から運転終了まで上ぶたを
ロックします。

布量検知

洗 い



布量検知 (洗濯量の計測)

洗濯量を自動的に調べ、適切な水量をお知らせします。

スタート一時停止 を押すと、パルセーターが回転し水量・洗剤量を順に表示します。

検知するコース

「標準」「自分流」「おいそぎ」「念入り」「ジェルボール」
「シワ低減」コース

洗濯物がぬれている場合

布量を多めに判定します

洗濯・脱水槽内にはじめから水が入っている場合

お好み設定で「すすぎ」からスタートした場合

布量検知をしません
➡66【65/64】Lを表示



お知らせ

- 洗濯・脱水槽内に入る実際の水量は無段階のため、水量表示と異なることがあります。
- 自動設定水量は、少なめや多めに調節できます。➡P41

【 】は、AQW-VP9A/AQW-VP8Aの場合

浸透濃縮行程

洗浄力を高めるため、洗いの始めに自動で行います。

- 設定水位が低い場合は、浸透濃縮行程は行いません。

浸透濃縮をするコース

「標準」「自分流」「念入り」「2度洗い」
「ジェルボール」コース



高濃度洗剤液をつくる

少ない水量からか
くはんを始め、高
濃度洗剤液をつく
ります。



遠心力で
まんべんなく
浸透させる

洗濯・脱水槽を回
転させ、遠心力に
より高濃度の洗剤
液を衣類全体に浸
透させます。



浮かせた
汚れを
洗い落とす

給水しながら
かはんし、芯
から汚れを洗
い落とします。

記憶

スタートすると、運転したコースを記憶します。

記憶するコース

「標準」「自分流」「おいそぎ」「念入り」
「ジェルボール」「シワ低減」コース

電源切/入

電源を入れると、記憶しているコースと
自動投入設定が表示されます

スタート一時停止

を押すと、すぐにスタートできます。

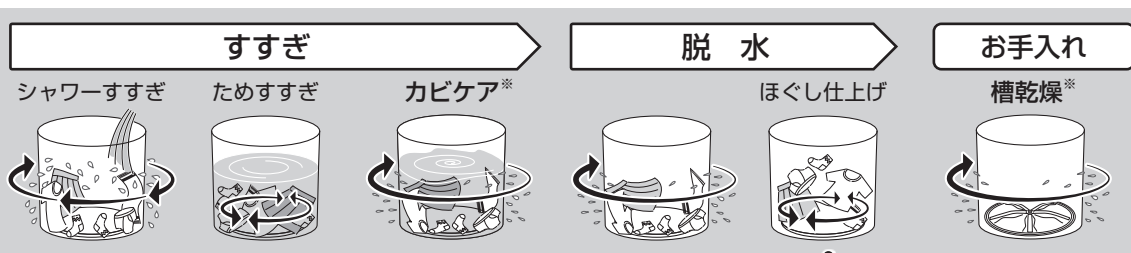
洗濯終了

- 洗濯物を取り出し干す
- 上ぶたを閉める

運転終了

- 水栓を閉じる
- 糸くずフィルターを掃除する ➡P47

すすぎの種類 ➡P25



※ お手入れ (カビケア/槽乾燥) を設定した場合 ➡P14

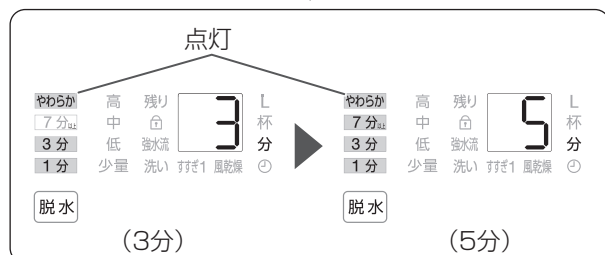
やわらか脱水

脱水回転数をおさえてやさしく脱水します。
綿素材やデリケートな衣類ではシワや型くずれをおさえて仕上げます。

やわらか脱水を設定できるコース

「標準」「自分流」「おいそぎ」「念入り」「2度洗い」
「ジェルボール」「シワ低減」「ふとん・毛布」コース

脱水 を繰り返し押して選ぶ



ほぐし仕上げ

脱水後、衣類を取り出しやすくするため、約1分間ほぐし運転をします。

- 購入時は設定されています。

ほぐし仕上げするコース

「標準」「自分流」「念入り」「ジェルボール」コース

電源「入」の状態で、
ほぐし仕上げをやめたい **すすぎ** と **脱水** を押しながら
スタート (一時停止) を約3秒間押し続ける

- 「ピー」と鳴り、設定完了

再度ほぐし仕上げしたい
● 設定時と同じ操作をする
● 「ビピッ」と鳴り、設定完了



お知らせ

- 電源を切っても設定内容を記憶しています。
- 次のようなときは「ほぐし仕上げ」を行いません。
 - ・水量が55【53/51】L以上のとき
 - ・水量を手動で設定したとき
 - ・お好みで、脱水のみを設定したとき
 - ・脱水で「やわらか」を設定したとき

【 】は、AQW-VP9A/AQW-VP8Aの場合

機能



お知らせ

- 停電時や電源プラグをコンセントから抜いたときも、記憶しています。
- 「洗い」「すすぎ」「脱水」を押して変更した運転内容は記憶しません。記憶させたいときは、「自分流」コース ➡P28 をご利用ください。

洗濯の流れと機能 (つづき)

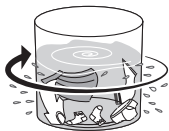
お手入れ(カビケア／槽乾燥)

洗濯のたびにお手入れする「カビケア」、洗濯の延長で
お手入れできる「槽乾燥」が設定できます。

- 購入時は設定されていません。

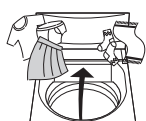
■カビケア

すすぎの最後に洗濯・脱水槽を回
転させて、遠心力による強い水流で
汚れを洗い流し、洗濯・脱水槽の除
菌、黒カビの発育を抑えます。



■槽乾燥

脱水運転終了後、洗濯・脱水槽を1時間高速回転
することで、槽内の水分を取り除きます。



電源を切らずに洗濯物を取り出す
ブザーが鳴り、**QF**と表示したら、
上ぶたを開ける。



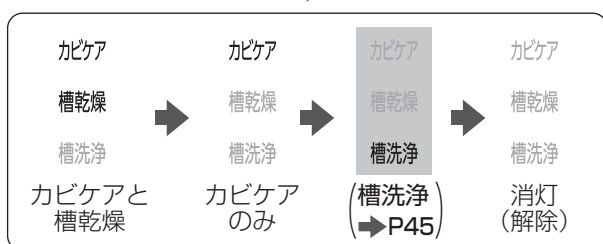
上ぶたを閉める
ふたロックがかかり運転が始まる。

1時間で運転終了

お手入れを設定できるコース

「標準」「自分流」「念入り」「2度洗い」「シワ低減」
「ふとん・毛布」コース

お手入れを繰り返し押して、いずれかを選ぶ



お知らせ

- 運転スタートすると設定を記憶します。
- コース運転途中に設定はできません。
- 「槽乾燥」のみの運転はできません。洗濯・脱水槽の乾燥のみ行いたい場合は、洗濯物を入れずに「風乾燥」60分 ➡ P35 の運転をしてください。
- 「槽乾燥」設定時は、コース運転終了後に上ぶたの開閉がなかった場合、10分ごとにブザーが鳴り、30分経過すると自動的に電源が切れます。
- 汚れの種類や程度により洗い流せない場合があります。必要に応じて「槽洗浄」➡ P45 でお手入れしてください。

槽洗浄お知らせ

運転回数をカウントし、槽洗浄が必要なタイミングを
「槽洗浄」ランプが点滅してお知らせします。点滅したら
「槽洗浄」➡ P45 でお手入れしてください。

- 購入時は設定されています。

槽洗浄
お知らせを
やめたい

電源「入」の状態、**お手入れ**を約3秒間
押し続ける

- 「ピピッ」と鳴り**QF**を表示し、設定完了

再度
設定したい

設定時と同じ操作をする

- 「ピー」と鳴り**Qn**を表示し、
設定完了

運転回数をカウント

既定の運転回数に達したら…



運転終了後、「槽洗浄」ランプが点滅

ランプは約2時間点滅します



「槽洗浄」でお手入れする

運転回数がリセットされます



お知らせ

- 購入時は40回の運転でお知らせするように設定されています。「お手入れ(カビケア／槽乾燥)」などの設定状況によりお知らせのタイミングが変わります。
- 「槽洗浄」を運転しなくても、点滅が始まってから3回程度運転を行うと運転回数がリセットされます。

■除菌について

「カビケア」	
試験機関	(一財)日本食品分析センター
試験方法	洗濯・脱水槽および外槽に取り付けた菌液付着プレートの生菌数測定
除菌方法	「カビケア」による
対象部分	洗濯・脱水槽および外槽
試験結果	(菌の減少率) 99%以上

■黒カビ抑制について

「カビケア」	
試験機関	(一財)日本食品分析センター
試験方法	洗濯・脱水槽外側に取り付けた培地付着布によるカビ発育確認
カビ抑制方法	「カビケア」による
対象部分	洗濯・脱水槽
試験結果	カビの発育なし

《自動投入》洗剤・柔軟剤の使いかた

自動投入の手順

自動投入を使う前に、以下の順序で準備と設定が必要です。



自動投入タンク
(洗剤・柔軟剤)に
洗剤・柔軟剤を入れる



基準量を設定する
(水 30L に対する使用量)
→P16

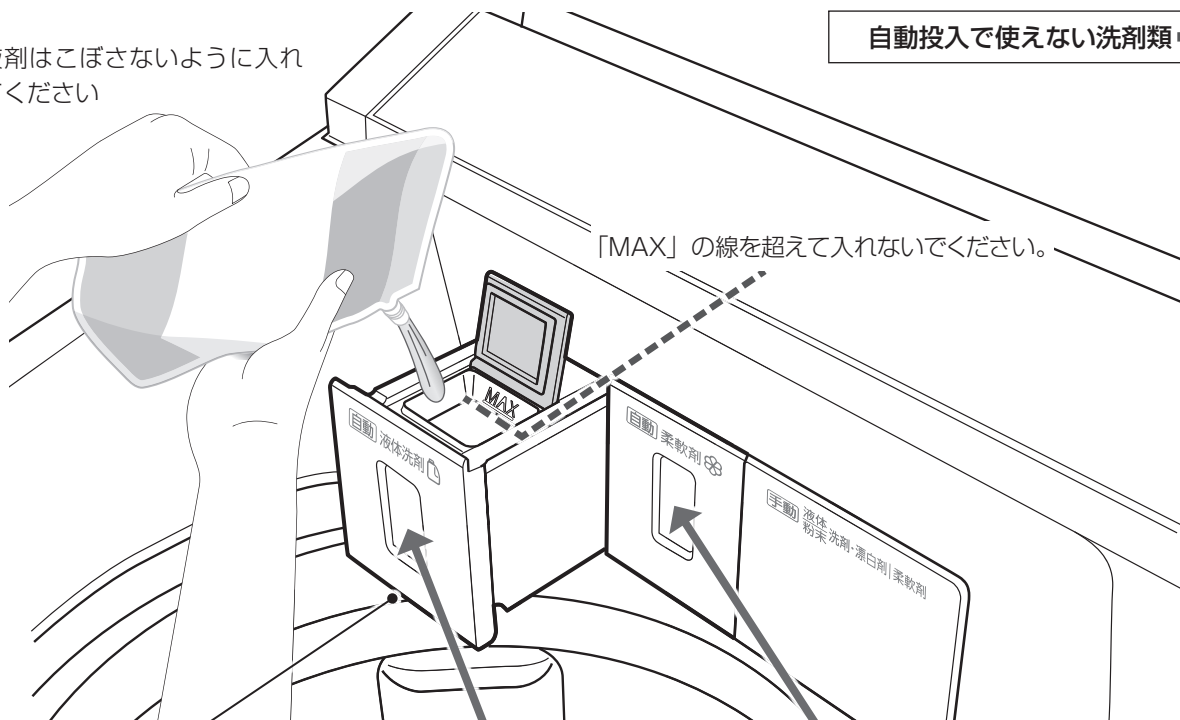


自動投入を
設定する
→P17

自動投入タンクに洗剤・柔軟剤を入れる

- 液剤はこぼさないように入れてください

自動投入で使えない洗剤類 →P20



- タンクを開けるときの下部のロックを押して引き出す
- タンクを閉めるときのカチッと音がするまで確実に奥まで押し込む

液体洗剤タンク

容量：約560mL

- 液体洗剤以外は入れない

柔軟剤タンク

容量：約560mL

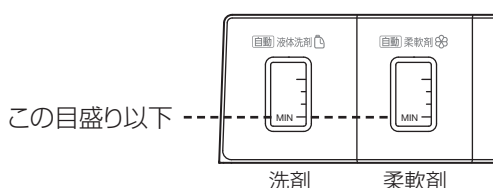
- 液体柔軟剤以外は入れない

お願い

- 固まったり分離した洗剤・柔軟剤などは使わないでください。
- 液剤の入れ間違いにご注意ください。

洗剤・柔軟剤 補充のタイミング

- 下図の目盛り以下になる前に補充してください。



- 残量が少ない状態で放置しないでください。洗剤・柔軟剤が固まって、経路に詰まる原因になります。そのような場合はタンクのお手入れをしてください。→P46

自動投入タンクのお手入れ →P46

- 次のような場合、お手入れをしてください。
 - 2～3カ月ごと
 - 自動投入されなくなったとき
 - 1カ月以上自動投入を使わなかったとき
 - 洗剤・柔軟剤を間違えて入れたとき
 - 残量が少ない状態で1週間以上補充しなかったとき
 - タンク内の洗剤・柔軟剤がゼリー状になったとき

投入する洗剤や柔軟剤などの種類を変えるときもお手入れをしてください。

《自動投入》洗剤・柔軟剤の使いかた(つづき)

初めて使うとき
種類を変えるとき

基準量を設定する(水30Lに対する使用量)



初めて自動投入を使うときや、洗剤・柔軟剤の種類を変えるときは、自動投入基準量を設定してください。タンクごとに設定が必要です。



お知らせ • 液体洗剤・柔軟剤はそれぞれ設定してください。

1

電源
切/入

電源を入れる

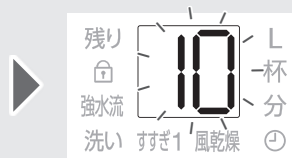
2

洗剤量 を3秒以上押す

(柔軟剤は 柔軟剤量 を3秒以上押す)

- 「ピッ」と鳴り、基準量が点滅表示します。
- 購入時は、どちらも10mLに設定されています。

(例) 洗剤の基準量を設定する場合



3

量を減らす場合は 洗剤量 (-1mL)、
量を増やす場合は 柔軟剤量 (+1mL)を
繰り返し押し、基準量を設定する

- どちらも3~30mLの範囲(1mL単位)で設定できます。
- 自動投入(基準量) → P20

(例) 洗剤の基準量を25mLに設定する場合



4

スタート
一時停止

を押す

- 「ピッ」と鳴り、設定完了。設定内容を記憶します。



お知らせ

- 「水 30L に対する使用量」は洗剤・柔軟剤の容器に記載されています。 → P20
記載が無い場合は洗剤メーカーにお問い合わせください。
- 使用する洗剤・柔軟剤の種類を変えるときは、基準量の設定を変更してください。
- 使用する洗剤類の基準量は必ず設定してください。基準量を設定せずに運転すると、液体洗剤や柔軟剤が適量投入されず、洗濯物の汚れが落ちにくくなったり、泡が多量に発生して上ぶたに付着したり、床をぬらしたりする原因になります。

初めて使うとき 使用量を変えるとき 自動と手動を切り替えるとき

自動投入を設定する

あらかじめ自動投入タンク内に液体洗剤・柔軟剤を入れてから、設定をしてください。スタートすると記憶され、すぐに運転が始まります。・購入時は自動投入しない設定になっています。

1 電源切/入 電源を入れ、コース コースを選ぶ

2 洗剤量 を押し、自動投入を設定する (柔軟剤は 柔軟剤量 を押す)

- 洗剤(柔軟剤)のランプが点灯します。

(例)洗剤を自動投入する場合



3 スタート一時停止 を押す

- 「ピッ」と鳴り、設定完了。
- 設定内容を記憶します。運転も始まりますので、運転しない場合は「スタート一時停止」を押してから電源を切ってください。

自動投入量を変更する・自動投入をやめる

自動投入量を変更する

1 洗剤量 を押し、「多め」「標準」「少なめ」を選ぶ (柔軟剤は 柔軟剤量 を押す)

- 押すたびにランプが切り替わります。

多め…基準量より多めに入れたい

標準…基準量どおり

少なめ…基準量より少なめに入れたい



(例)洗剤量「多め」、
柔軟剤量「少なめ」の場合

自動投入をやめる(手動投入する)

1 洗剤量 を押し、 自動投入ランプを消灯させる (柔軟剤は 柔軟剤量 を押す)

(例)すべて自動投入
しない場合



- 「2度洗い」コースでは、「自動投入をやめる(手動投入)」に変更することはできません。

2 スタート一時停止 を押す

- 「ピッ」と鳴り、設定完了。
- 設定内容を記憶します。運転も始まりますので、運転しない場合は「スタート一時停止」を押してから電源を切ってください。



お知らせ

- 自動投入を設定しているときは、手動投入容器や洗濯・脱水槽に洗剤や柔軟剤などを入れないでください。すすぎが不十分になったり、泡があふれて床をぬらしたりする原因になります。
- 洗剤の自動投入量は布量検知で決定されます。給水開始後に水量を変更した場合、手動で追加投入してください。柔軟剤の投入量は洗い中の変更水量が反映されます。
- 自動投入を設定できないコースがあります。➡P22~23

《手動投入》洗剤・柔軟剤などの入れかた



自動投入しない設定になっていることを確認してください。

・右図の表示が消灯で自動投入しない設定です。

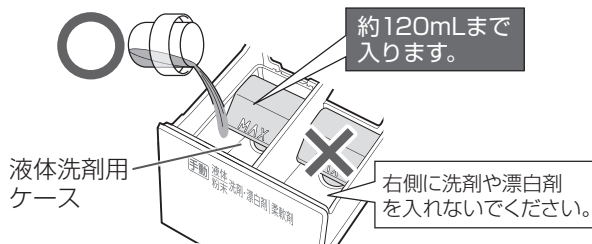


手動投入容器

液体洗剤・**酸素系**液体漂白剤・おしゃれ着用洗剤

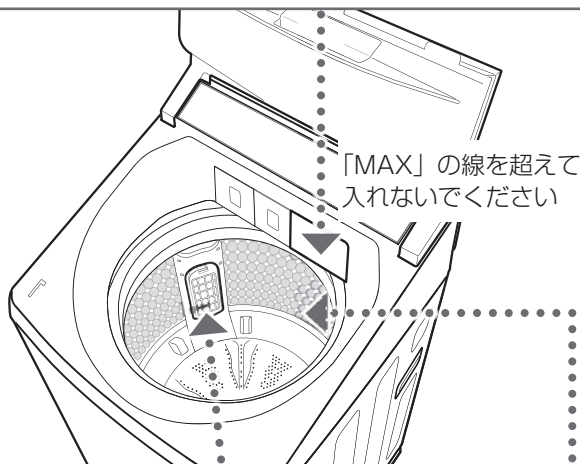
「液体洗剤用ケース」に入れる

- 必ず液体洗剤用ケースを使用してください。



お願い

- 流れにくい場合は水でうすめてください。
- 塩素系漂白剤は入れないでください。



塩素系液体漂白剤注入口

酸素系液体漂白剤

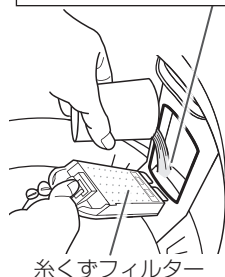
3倍の量の水でうすめ
「**酸素系液体漂白剤注入口**」に入れる



お知らせ

- 塩素系液体漂白剤を直接、「洗濯・脱水槽」内に入れたり、洗濯物にかけたりしないでください。(変色・布破れの原因)
- 予約時は塩素系漂白剤を使わないでください。
- 「**酸素系液体漂白剤注入口**」は2カ所あります。洗剤・漂白剤は入れやすい方に入れてください。

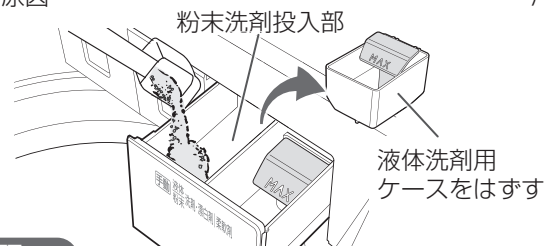
酸素系液体漂白剤注入口



粉末合成洗剤・粉末漂白剤

「粉末洗剤投入部」または「洗濯・脱水槽」内に入れる

- 必ず液体洗剤用ケースをはずしてください。
手動投入容器を引き抜いてから、液体洗剤用ケースをはずす
(粉末洗剤がケース内で詰まり、洗剤が流れず水もれ)の原因



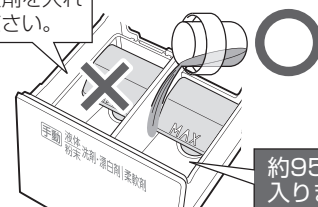
お願い

- ぬれているときは拭き取ってから入れてください。(ぬれていると洗剤が固まり、洗剤が残る原因)
- 粉末と液体を同時に洗剤容器に投入しないでください。

柔軟剤

「柔軟剤投入部」に入れる

左側に柔軟剤を入れないでください。



- 洗濯前に入れておくと、最終のすすぎで自動的に投入されます。(「ジェルボール」コースは、2回目のすすぎ時に投入されます。)

お願い

- 流れにくい場合は水でうすめてください。
- 柔軟剤は、入れすぎないでください。(衣類の黒ずみの原因)
- 柔軟剤を入れた後、長時間放置しないでください。(柔軟剤が固まるおそれ)
- 固まったり分離したものは使わないでください。(手動投入容器に柔軟剤や水が残る原因)

洗濯・脱水槽

ジェルボール型洗剤

「洗濯・脱水槽」内に直接入れる

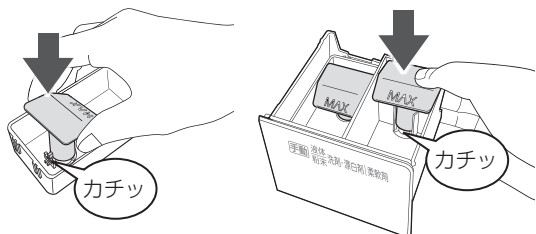
液体洗剤用ケースやキャップの取り付けは、必ず底につくまで押し込んでください。

(洗剤・柔軟剤が投入できなくなったり、多量の水が残る原因)

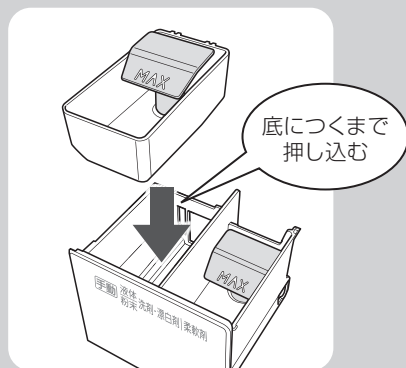
キャップの取り付け

液体洗剤用ケース

手動投入ケース
(柔軟剤投入部)



液体洗剤用ケースの取り付け



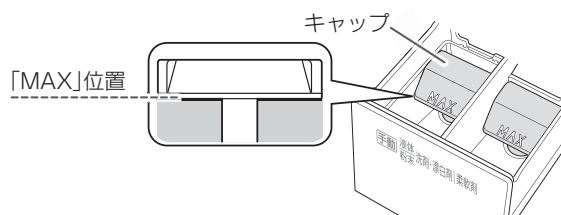
ご注意

- プラスチック部分に、洗剤・柔軟剤・漂白剤が付いた場合は、水を含ませたやわらかい布ですぐに拭き取ってください。放置するとプラスチック部品を傷める原因になります。特に濃縮液体洗剤はプラスチック部品が割れるおそれがあります。

お願い

- 手動投入容器・塩素系液体漂白剤注入口は確実に閉めてください。(水もれの原因、洗濯物が引っかかり破損するおそれ)
- ビーズタイプの仕上げ剤・スティック型洗剤は「洗濯・脱水槽」内に直接入れてください。
- 重曹は使わないでください。(故障の原因)
- 手動投入容器にジェルボール型洗剤・塩素系漂白剤を入れないでください。また、洗剤・漂白剤は粉末と液体を同時に入れないでください。
- 使用量は洗剤類の容器の記載に従ってください。

手動投入容器のポイント

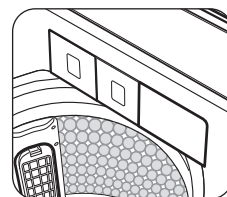


- キャップの「MAX」の位置以上入れないでください。サイフォン現象により洗剤・柔軟剤がすぐに流れ出てることがあります。
- 液体洗剤と液体漂白剤を同時に投入する場合でも、「MAX」の位置を超えて入れないでください。入りきらないときは、「塩素系液体漂白剤注入口」に入れてください。
- サイフォン現象でわずかに水が残ることがありますが、異常ではありません。
- 運転終了後、給水経路内の残水が容器内に入ることがあります。その場合は、捨ててから洗剤類を入れてください。

予約時の洗剤類の入れかた

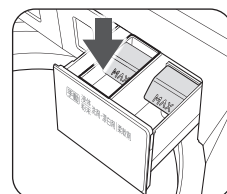
■液体洗剤・柔軟剤

自動投入を使う ➡ P16~17
または、
「手動投入容器」に入れる ➡ P18
(洗剤は液体洗剤用ケースを使う)



■酸素系液体漂白剤

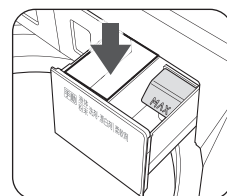
「手動投入容器」に入れる ➡ P18
(液体洗剤用ケースを使う)



■粉末合成洗剤・粉末漂白剤

「手動投入容器」に入れる ➡ P18
(液体洗剤用ケースをはずす)

- 投入口がぬれている場合は、乾いた布で拭いてから入れてください。(粉末合成洗剤・漂白剤が残る原因)



■ジェルボール型洗剤

「洗濯・脱水槽」内に入れる

- ぬれた洗濯物から離し、水分がつかないようにしてください。

お願い

- 予約時は、塩素系漂白剤は使わないでください。
- 予約時は、粉石けん・液体石けんは使わないでください。(固まるおそれ)

石けんの入れかた (粉石けん・液体石けん)

溶け残りを防ぐため、あらかじめ溶かしてください

洗濯・脱水槽内で溶かす場合

- 1 水栓を開き、 電源を入れる
- 2 「自動投入をやめる」設定にする➡P17
- 3  「標準」を選び、 ・
 「3分」を設定する
- 4 上ぶたを閉め、 スタートする
- 5 給水が止まったら、 一時停止し、
上ぶたを開け、石けんを「洗濯・脱水槽」内に均等に入れる
- 6 上ぶたを閉め、 再スタートする
 - 運転終了後、電源を入れ直し、使用するコースや水量を設定し、洗濯物を入れて洗濯を始めてください。

溶けにくい場合

- 1 バケツなどに約30℃のぬるま湯を約5L入れる
- 2 十分かきまわしながら、石けんを少しずつ入れる
- 3 固まったり、粒が残ったりしないようによくかき混ぜ、「洗濯・脱水槽」内に入れる
 - 水栓を開き、電源を入れ、使用するコースや水量を設定し、洗濯物を入れて洗濯を始めてください。



お願い

- 石けんは「自動投入タンク」、「塩素系液体漂白剤注入口」、「手動投入容器」には入れないでください。
- 石けんは合成洗剤に比べ洗濯物に残りやすく、黄ばみや臭いの原因になります。すすぎは十分に行ってください。
- 使用量は、洗剤類の使用量(目安) ➡P21 や石けんの容器の記載に従ってください。
- 入れすぎたり低温の水では、完全に溶けずに石けんが洗濯物に残ることがあります。また、排水ホースや洗濯・脱水槽内に残った石けんが浮き上がり洗濯物を汚すことがあります。そのようなときは、洗濯槽クリーナー(SWCLEAN-2)を使って「槽洗浄(12時間)」➡P45でお手入れしてください。
- 予約時は、粉石けん・液体石けんを使わないでください。(固まるおそれ)

洗剤類の使用量【目安】

自動投入(基準量)

代表的な洗剤・柔軟剤の基準量

水30Lに対する使用量

「基準量を設定する」➡P16

洗剤の銘柄	基準量
・ アタック ZERO 自動投入専用 ・ スーパーナノックス 自動投入洗濯機専用	6mL
・ アタック ZERO ・ ナノックス ・ アリエール濃縮ジェル 自動投入用	10mL
・ トップ ・ ニュービーズ ・ アタック	25mL
・ ボールド ・ アリエール	30mL

柔軟剤の銘柄	基準量
・ ハミング 消臭実感 自動投入専用	5mL
・ ふんわりソフラン	7mL
・ ハミング ・ ソフラン	10mL
・ レノア	16mL

■自動投入で使えない洗剤類

- 次のものは自動投入で使わないでください。故障の原因になる場合があります。
 - ・ 粘性の高いもの
 - ・ おしゃれ着用液体中性洗剤
 - ・ ジェルボール型洗剤・スティック型洗剤
 - ・ 粉末合成洗剤
 - ・ 粉石けん・液体石けん
 - ・ 漂白剤
 - ・ ビーズタイプの仕上げ剤
 - ・ 洗濯のり
 - ・ 重曹 など
- ※重曹は、手動投入でも使えません。

(自動投入／手動投入)

手動投入

洗剤・柔軟剤・漂白剤量の目安 《手動投入》洗剤・柔軟剤などの入れかた➡P18～19

2024年3月現在

 洗剤の容器の表示を ご確認ください				合 成 洗 剤								石けん		柔 軟 剤			酸素系液体 漂 白 剤	
				液 体		おしや れ着用 液体中 性洗剤	ジェル ボール 型	粉 末		粉石 けん	液体 石けん							
				水30Lに対する使用量														
水位	水量	洗濯量 【乾燥布】 (上限)	洗剤の 目安※	10mL	25mL	30mL	40mL	1 粒	18g	21g	30g	36g	50mL	7mL	10mL	16mL	20mL	40mL
				ア タ ク ク Z E R O	ト ッ プ ニ ュ ー ビ ー ズ	ボ ー ル ド ア リ エ ー ル	エ マ ー ロ ン	ボ ー ル ド ジ ェ ル ボ ー ル ア リ エ ー ル ジ ェ ル ボ ー ル	ア タ ク ク	ニ ュ ー ビ ー ズ	ト ッ プ	そ よ 風	お 肌 の た め の せ っ け ん	ふ ん わ り ソ フ ラ ン	ソ フ ラ ン ハ ミ ン グ	レ ノ ア	ワ イ ド ハ イ タ ー E X パ ワ ー ブ ラ イ ト S T R O N G	ワ イ ド ハ イ タ ー
高	66L (AQW- VP10A)	10kg	約 1.0 杯	22mL	55mL	66mL	88mL	1 粒	40g	46g	66g	79g	110mL	15mL	22mL	35mL	44mL	88mL
高	65L (AQW- VP9A)	9kg	約 1.0 杯	22mL	54mL	65mL	87mL		39g	46g	65g	78g	108mL	15mL	22mL	35mL	43mL	87mL
高	64L (AQW- VP8A)	8kg	約 1.0 杯	21mL	53mL	64mL	85mL		38g	45g	64g	77g	107mL	15mL	21mL	34mL	43mL	85mL
高	55L (AQW- VP10A)	10kg	約 0.8 杯	18mL	46mL	55mL	73mL		33g	39g	55g	66g	92mL	13mL	18mL	29mL	37mL	73mL
高	53L (AQW- VP9A)	9kg	約 0.8 杯	18mL	44mL	53mL	71mL		32g	37g	53g	64g	88mL	12mL	18mL	28mL	35mL	71mL
高	51L (AQW- VP8A)	8kg	約 0.8 杯	17mL	43mL	51mL	68mL		31g	36g	51g	61g	85mL	12mL	17mL	27mL	34mL	68mL
中	46L	5kg	約 0.7 杯	15mL	38mL	46mL	61mL		28g	32g	46g	55g	77mL	11mL	15mL	25mL	31mL	61mL
低	38L	2kg	約 0.6 杯	13mL	32mL	38mL	51mL		23g	27g	38g	46g	63mL	9mL	13mL	20mL	25mL	51mL
少量	22L	0.5kg	約 0.3 杯	7mL	18mL	22mL	29mL	13g	15g	22g	26g	37mL	5mL	7mL	12mL	15mL	29mL	

※洗剤の目安：液体洗剤(水65Lに対しキャップ1杯のもの)のキャップを基準にしています。

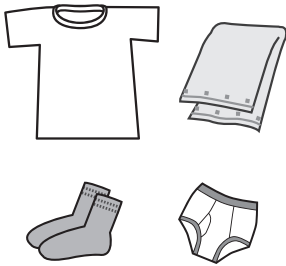
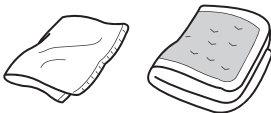
- 「おいそぎ」コースでの洗剤の使用量は、上表の7割程度が適当です。洗剤量の目安表示は7割の量で表示します。
- 洗剤によりキャップまたはスプーン1杯の洗剤量が異なります。洗剤の容器に記載されている「使用量の目安」に従ってください。
- 洗剤類は、洗濯量と汚れの程度に応じて入れてください。
 - 汚れが多い場合は洗剤量を増やし、軽い汚れの場合は洗剤量を控えめにしてください。
 - 洗剤や漂白剤は入れすぎないようにしてください。すすぎが不十分になり洗濯物に残ったり、泡があふれたりすることがあります。
- 洗濯量はJIS(日本産業規格)規定の布地を使用した場合のもので、洗濯物の厚さ・大きさ・種類により洗える量が変わります。布の動きが悪いときは、洗濯量や水量を調節してください。
- 上表以外の使用量は洗剤などの容器の記載に従ってください。

軽い汚れとは、脂分をほとんど含まない汗やほこりのような汚れのことです

洗剤類の使用量【目安】(自動投入／手動投入)

コースの選びかた

洗濯物の種類や汚れにあわせてコースを選んでください。

洗濯物の種類	こんなときに	コース
普段の衣類 Tシャツ・タオル類・パジャマ・くつ下・ワイシャツ・下着・ズボンなど 	綿素材の下着など、普段着を洗濯したいときに	標準 →P27
	お好みの運転内容を記憶させたいときに	自分流 →P28
	軽い汚れの衣類を手早く洗濯したいときに	おいそぎ →P27
	がんこな汚れや厚手の衣類をきれいに洗濯したいときに	念入り →P27
	泥などが付いた洗濯物を2度洗いでスッキリきれいに洗いたいときに 洗剤は予洗い・本洗いの2回自動投入されます。	2度洗い →P29 洗剤自動投入専用コース
	ジェルボール型洗剤を使用するときに ジェルボール型洗剤の防臭・香り付け効果を高めます。	ジェルボール →P27 洗剤手動投入専用コース
	シワを抑えて洗いたいときに	シワ低減 →P27
デリケートな衣類 セーター・カーディガン・ランジェリー類・スカート・ブラウス・学生服・スラックスなど 	(新)  (旧)  手洗い 30 表示のあるデリケートな衣類をやさしく洗濯したいときに	おしゃれ着 →30～31 洗剤手動投入専用コース
毛布・ふとん・シーツ類など 	(新)  (旧)  手洗い 30 表示のある毛布や掛けふとん、シーツなどの大物を洗濯したいときに	ふとん・毛布 →P32～33
洗濯・脱水槽のお手入れ 洗濯物はいれないでください	汚れや臭いを予防したいときに「槽洗浄」ランプが点滅したときに	槽洗浄3時間 →P44～45
	汚れや臭いの発生が気になるときに	槽洗浄12時間 →P44～45

洗濯容量	洗剤 自動投入 →P15~17	柔軟剤 自動投入 →P15~17	強水流 →P41	脱水時間 の延長 →P42	風呂水 →P38~39	やわらか 脱水 →P13	風乾燥 →P34~35	予約 →P40	お手入れ→P14	
									カビケア	槽乾燥
10kg以下 【9kg／8kg 以下】	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○
	○	○	○	—	○	○	○	○	—	—
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4kg以下	○ 変更できない	○	○	○	○ 洗いのみ	○	○	○	○	○
10kg以下 【9kg／8kg 以下】	—	○	○	○	○ 洗いのみ	○	○	○	—	—
	○	○	—	—	○	○	—	○	○	○
1.5kg以下	—	○	—	—	○	—	—	—	—	—
毛布 4.5kg以下 (綿毛布は6kg以下) 掛けふとん 1.8kg以下	○	○	—	—	○	○	—	○	○	○

【 】は、AQW-VP9A／AQW-VP8Aの場合

洗濯物は 入れない	—
--------------	---

コースの
選
び
か
た

コース内容と所要時間【目安】

		自動設定の内容					
コース	容量(上限)	水量	洗い(約)	すすぎ	脱水(約)	所要時間(約)	
標準 ➡P27	10kg 【9kg / 8kg】	24～55L 【24～53L / 24～51L】	6～8分	2回 【シャワー＋ため】	6分	30～34分 【23～29分 / 23～29分】	
自分流 ➡P28	10kg 【9kg / 8kg】	24～66L 【24～65L / 24～64L】	設定内容による				
おいそぎ ➡P27	10kg 【9kg / 8kg】	24～66L 【24～65L / 24～64L】	4～6分	注水 1 回	6分	20～27分	
おしゃれ着 ➡P30～31	1.5kg	66L 【65L / 64L】	4分	注水 2 回	3分	40分	
念入り ➡P27	10kg 【9kg / 8kg】	24～66L 【24～65L / 24～64L】	10～13分	注水 2 回	7分	45～54分	
2 度洗い ➡P29	4kg	66L 【65L / 64L】	予洗い：8分 本洗い：8分	3回 【ため】	6分	77分	
ジェルボール ➡P27	10kg 【9kg / 8kg】	24～66L 【24～65L / 24～64L】	6～8分	3回 【シャワー】	6分	24～36分	
シワ低減 ➡P27	10kg 【9kg / 8kg】	24～66L 【24～65L / 24～64L】	8～10分	2回 【ため】	4分	31～39分	
ふとん・毛布 ➡P32～33	毛 布：4.5kg 綿 毛 布：6kg 掛けふとん：1.8kg	66L 【65L / 64L】	12分	注水 2 回	8分	59分	
運転内容		水量	洗い(約)	すすぎ	脱水(約)	所要時間(約)	
槽洗浄 ➡P44～45	3 時間	66L 【65L / 64L】	つけ置き 2 時間 ＋ 洗い 5 分	注水 2 回	30 分	3時間	
	12 時間		つけ置き 11 時間 ＋ 洗い 5 分	注水 2 回	30 分	12 時間	

お好み設定できる内容

水量	洗い	すすぎ	脱水	風乾燥
66【65／64】L 55【53／51】L 46L 38L 22L	1～15分 消灯〔なし〕	※ 1 1 回～注水 3 回 消灯〔なし〕	1～15分 消灯〔なし〕 やわらか 3分・5分	30分・60分・ 2H(2時間)・ 4H(3.5時間) 消灯〔なし〕
66【65／64】L 55【53／51】L 46L 38L 22L	1～15分 消灯〔なし〕	※ 1 1 回～注水 3 回 消灯〔なし〕	1～15分 消灯〔なし〕 やわらか 3分・5分	30分・60分・ 2H(2時間)・ 4H(3.5時間) 消灯〔なし〕
66【65／64】L 55【53／51】L 46L 38L 22L	1～15分 消灯〔なし〕	※ 2 1 回～注水 3 回 消灯〔なし〕	1～15分 消灯〔なし〕 やわらか 3分・5分	30分・60分・ 2H(2時間)・ 4H(3.5時間) 消灯〔なし〕
66【65／64】L 55【53／51】L 46L 38L	1～15分 消灯〔なし〕	※ 2 1 回～注水 3 回 消灯〔なし〕	1～15分 消灯〔なし〕	設定できない
66【65／64】L 55【53／51】L 46L 38L 22L	1～15分 消灯〔なし〕	※ 2 1 回～注水 3 回 消灯〔なし〕	1～15分 消灯〔なし〕 やわらか 3分・5分	30分・60分・ 2H(2時間)・ 4H(3.5時間) 消灯〔なし〕
66【65／64】L 55【53／51】L 46L 38L 22L	1～15分 消灯〔なし〕	※ 2 1 回～注水 3 回 消灯〔なし〕	1～15分 消灯〔なし〕 やわらか 3分・5分	30分・60分・ 2H(2時間)・ 4H(3.5時間) 消灯〔なし〕
66【65／64】L 55【53／51】L 46L 38L 22L	1～15分 消灯〔なし〕	1 回 〔シャワー 3 回〕 消灯〔なし〕	1～15分 消灯〔なし〕 やわらか 3分・5分	30分・60分・ 2H(2時間)・ 4H(3.5時間) 消灯〔なし〕
66【65／64】L 55【53／51】L 46L 38L 22L	1～15分 消灯〔なし〕	※ 2 1 回～注水 3 回 消灯〔なし〕	1～15分 消灯〔なし〕 やわらか 3分・5分	設定できない
66【65／64】L 55【53／51】L 46L 38L 22L	1～15分 消灯〔なし〕	※ 2 1 回～注水 3 回 消灯〔なし〕	1～15分 消灯〔なし〕 やわらか 3分・5分	設定できない

すすぎの種類

排水・脱水してからすすぎを始めます。

● ためすすぎ

水をためて
すすぎます。



● 注水すすぎ

注水しながら
すすぎます。



● シャワーすすぎ

洗濯・脱水槽
をゆっくり回し、給水と排水を同時に行いすすぎます。



(※1)

1回 **ため**
注水 1回 **注水**
2回 **シャワー** **ため**
注水 2回 **シャワー** **注水**
3回 **ため** **ため** **ため**
注水 3回 **注水** **注水** **注水**

(※2)

1回 **ため**
注水 1回 **注水**
2回 **ため** **ため**
注水 2回 **注水** **注水**
3回 **ため** **ため** **ため**
注水 3回 **注水** **注水** **注水**



お知らせ

- 所要時間は、給水量が毎分15Lのときの目安です。水道水圧・排水条件などにより変わります。
- 「ほぐし仕上げ」を行う場合は、所要時間が1分長くなります。➡P13
- 脱水時間の延長 ➡P42 を設定した場合は、所要時間が4分長くなります。
- 「2度洗い」コースの予洗いは、時間の変更はできません。
- 注水すすぎは、はじめにためすすぎをします。
- 風乾燥時間 **4H** の運転時間は、3.5時間になります。

設定は変更できない

【 】は、AQW-VP9A／AQW-VP8Aの場合

ふたロック／チャイルドロック

ふたロック

けがなどを避けるため、「給水開始～運転終了まで」「チャイルドロック設定時」は上ぶたがロックされます。



- **点灯中**
上ぶたはロックされ開きません。
- **消灯中**
上ぶたを開けることができます。

ふたロック中に 上ぶたを開けたい

運 転 中

1

 **スタート**
一時停止

を押す

2

「ピッ」と鳴り、 が消灯後、開ける

- 「ピピッ」と鳴ったときは、チャイルドロックが設定されています。
- 洗濯・脱水槽が回転しているときは、上ぶたが開くまで約30秒かかることがあります。

-  の点滅：ふたロック解除中です。点滅中は何も受け付けません。表示が消えるまでお待ちください。
-  が点灯：電源を入れたとき「ピピッ」と鳴った場合は、チャイルドロックが設定されています。設定を解除してください。

電源が入っていないとき

1

 **電源**
切/入

電源を入れる

2

 が消灯後、開ける

- 運転中に停電したときや電源プラグをコンセントから抜いたときは、ロックされたままになります。

チャイルドロック

子供の安全のため、上ぶたが開かないようにするとともにボタン操作をできないようにします。一度設定すると、解除するまで上ぶたは開けられません。

チャイルドロックを設定したい

チャイルドロックは、洗剤を投入し運転を開始してから設定してください。

運転を開始してから  **コース** を約5秒間押し続ける

- 「ピー」と鳴り、 を表示します。(約1秒間)
- 上ぶたにロックがかかり、電源「入」「切」とチャイルドロック解除以外の操作ができなくなります。

運転中以外でチャイルドロックを設定したいとき

1

電源「入」の状態
 **コース** を約5秒間押し続ける

2

 **スタート**
一時停止

スタートし、
すぐに  **電源**
切/入

電源を切る

解除

電源「入」の状態
 **コース** を約5秒間
押し続ける

- 「ピピッ」と鳴り、解除完了



お知らせ

- 電源「入」の状態であれば、設定／解除できます。ただし、一時停止中は設定／解除できません。

洗濯する

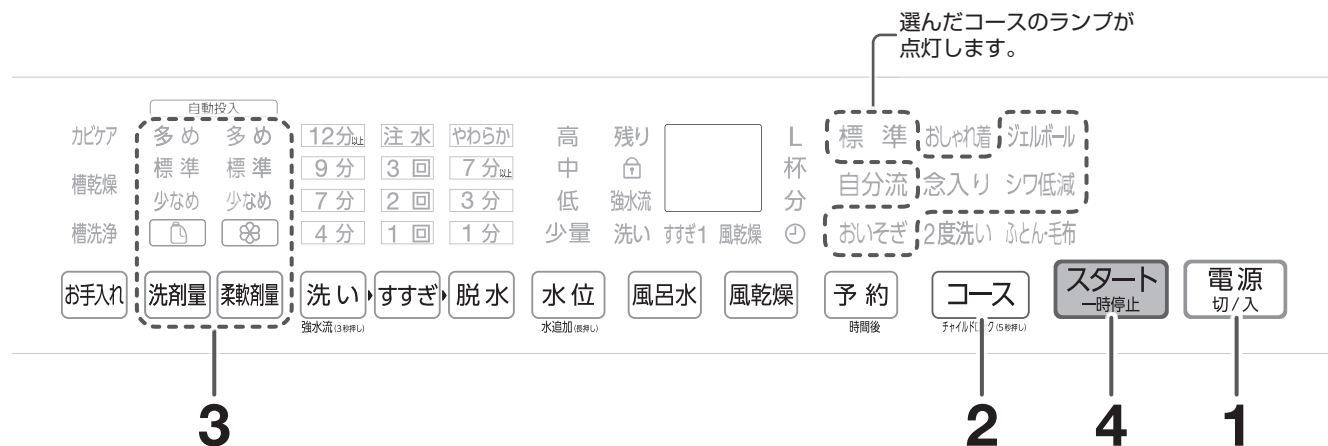
標準コース

おいそぎコース

念入りコース

ジェルボールコース

シワ低減コース



ふたロック／チャイルドロック

洗濯容量

10kg以下(AQW-VP10A)
9kg以下(AQW-VP9A)
8kg以下(AQW-VP8A)



お知らせ

- 「おいそぎ」コース
 - 「お手入れ（カビケア／槽乾燥）」は設定できません。
- 「ジェルボール」コース
 - 洗剤手動投入専用コース
 - 洗剤の自動投入はしません。
 - 「お手入れ（カビケア／槽乾燥）」は設定できません。
 - 洗いのみ「風呂水」の設定ができます。
- 「シワ低減」コース
 - 「風乾燥」は設定できません。
- 手順4で1分間の待機時間中に、上ぶたを閉め「スタート一時停止」を2回押すと、すぐに運転が始まります。
- 布量検知の約1分後に上ぶたがロックされ、給水が始まります。上ぶたが開いていると「14」を表示し待機状態になります。洗剤を入れた後は上ぶたを閉めてください。

準備 水栓を開き、洗濯物を入れる

1 電源 電源を入れる

2 コース コースを選ぶ

必要に応じ、風呂水 風乾燥 お手入れ を設定してください。

3 自動投入(自動/手動)を確認する

「自動投入を設定する」→P17

4 スタート スタートする

布量検知

- 水のない状態でパルセーターが回転し、布量検知を開始します。→P12
- 検知後は、水量・洗剤量・残時間を順に表示します。

布量検知中
残り 色 強水流 洗い すすぎ 風乾燥

手動投入する場合 →P18

布量検知の待機中(約1分間)に入れてください。

5 上ぶたを閉める

(上ぶたが開いていると運転は始まりません。)

ブザーが鳴ったら、運転終了

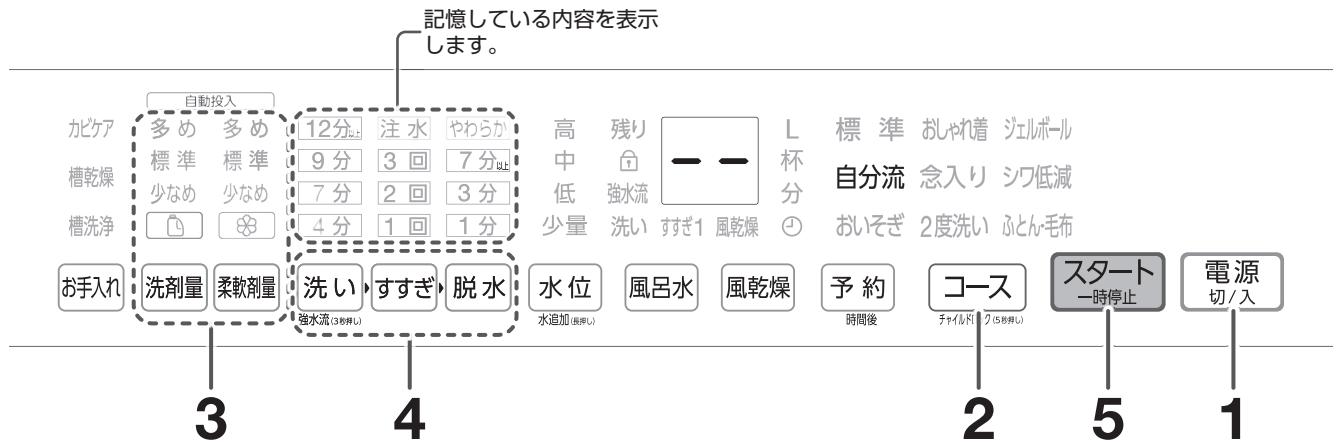
水栓を閉じ、糸くずフィルターを掃除してください。

標準・おいそぎ・念入り・ジェルボール・シワ低減コース

自分流の運転内容を記憶させる

自分流コース

スタートすると前回の設定は消え、新しい設定を記憶します。



洗濯容量

10kg以下(AQW-VP10A)
9kg以下(AQW-VP9A)
8kg以下(AQW-VP8A)

購入時の設定

洗 い 8分
すすぎ 2回
[シャワー+ため]
脱 水 6分



お知らせ

- 停電時や電源プラグをコンセントから抜いたときも記憶しています。
- 手順5**で1分間の待機時間中に、上ぶたを閉め **スタート一時停止** を2回押すと、すぐに運転が始まります。
- 布量検知の約1分後に上ぶたがロックされ、給水が始まります。上ぶたが開いていると **19** を表示し待機状態になります。洗剤を入れた後は上ぶたを閉めてください。
- 風乾燥を記憶しているときは、「脱水」の設定はできません。「脱水」を設定する場合は、「風乾燥」の表示を消灯させてから「脱水」を設定してください。

準備 水栓を開き、洗濯物を入れる

1

電源切/入

電源を入れる

2

コース「自分流」を選ぶ

- 記憶内容を表示します。変更がなければ **5** へ

3

自動投入(自動/手動)を確認する

「自動投入を設定する」→P17

4

洗い すすぎ 脱水 を押し、洗い時間、すすぎ回数・方法、脱水時間を設定する

必要に応じ、風呂水 風乾燥 お手入れ を設定してください。

5

スタート一時停止

スタートする

- 水のない状態でパルセーターが回転し、布量検知を開始します。

布量検知 → P12

手動投入する場合 → P18

布量検知の待機中(約1分間)に入れてください。

6

上ぶたを閉める

(上ぶたが開いていると運転は始まりません。)

ブザーが鳴ったら、運転終了

水栓を閉じ、糸くずフィルターを掃除してください。

泥などの汚れを2度洗いでスッキリ落とす

2度洗いコース

洗剤自動投入専用コース

予洗いで汚れを落としてから排水・脱水し、新たに水と洗剤を投入して本洗いをします(洗剤は予洗いと本洗いの2回投入)。



洗濯容量

4kg以下



お知らせ

- 洗剤の自動投入を「しない」にすることはできません(手動投入はできません)。必ず自動投入タンクに洗剤を入れてください。
- 洗いのみ「風呂水」の設定ができます。

準備

水栓を開き、洗濯物を入れる

1

電源
切/入

電源を入れる

2

コース

「2度洗い」を選ぶ

必要に応じ、風呂水 風乾燥 お手入れ を設定してください。

3

柔軟剤の自動投入(自動/手動)を確認する

「自動投入を変更する」➡P17

柔軟剤などを手動投入する場合

《手動投入》洗剤・柔軟剤などの入れかた ➡P18

4

上ぶたを閉め、スタート 一時停止 スタートする

(上ぶたが開いていると運転は始まりません。)

ブザーが鳴ったら、運転終了

水栓を閉じ、糸くずフィルターを掃除してください。

自分流・2度洗い
コース

デリケートな衣類を洗濯する

おしゃれ着コース

洗剤手動投入専用コース

洗濯できるもの

(新表示)  (旧表示)  手洗い 30

左の取扱い表示があるデリケートな衣類

※これらの取扱い表示があっても洗えないものがあります。➡P10

- ウール・カシミア・アンゴラのセーター・カーディガンなど



- 絹・麻のワンピース・ブラウス・シャツなど



- 学生服・セーラー服・スラックス・スカート・ジャンパー・カーテンなど



洗濯前のチェック

初めて洗う衣類は、色落ちしないか確かめる

- 洗剤液を含ませた白いタオルなどを目立たない部分に強く押しあて、タオルに色移りがないか確認してください。
- スカーフや外国製の衣類には色落ちしやすいものがあります。



毛素材などでプリーツ加工のものは、開かないように糸で留める

- 糸は乾いてから取ってください。



ボタン・刺しゅうが付いている衣類は裏返す

シミや部分汚れがないか確かめる

- シミは裏側にタオルをあて洗剤液を付け、一定方向にブラッシングしてください。
- ポケットまわり・そで口・えり・すその汚れは、洗剤液を付けブラッシングなどで軽くたたいて落としてください。



カーテンなどの大物以外は、洗い時間を6分以内にする

- カーテンのフックは、必ずはずしてください。
- 自動設定は、4分になっています。(縮みをおさえるため)

干しかた

- 風通しの良い日陰に干してください。

ウール・カシミア・アンゴラなどのセーター

形を整え、裏返して平干し



絹・麻などのワンピース・ブラウス

ハンガー干し



スカート

型を整えてハンガー干し

(伸びやすいものは平干し)



スラックス

折り目を合わせてハンガー干し



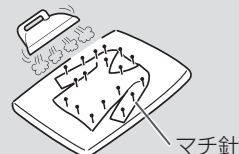
縮んだとき

1 伸ばしたい寸法に広げてマチ針を打つ

2 スチームアイロンを浮かせた状態でスチームをたっぷりかける

3 乾くまでそのままにしておく

- 衣類購入時に型紙をとっておくと便利です。



マチ針

アイロン仕上げ

- 衣類の取扱い表示に従ってください。
- てかりの出やすいスカート・スラックスや刺しゅう・ビーズの付いたものは当て布をしてください。

アイロンの適正温度

綿・麻

ポリエステル・毛・絹

アクリル系・ナイロン

(新表示)  ~210℃

 ~160℃

 ~120℃  ~120℃ スチームなし

(旧表示)  高 180~210℃

 中 140~160℃

 低 80~120℃

当て布をしてアイロンがけをしてください。



付記用語
あて布使用

アイロンがけができません。



(新表示)



(旧表示)



洗濯容量 1.5kg以下

■洗える量の目安

水位	水量	洗える量
高	66【65/64】L 自動設定	1.5kg以下
	55【53/51】L	
中	46L	0.8kg以下
低	38L	0.2kg以下

【 】は、AQW-VP9A/AQW-VP8Aの場合

■重さの目安

ブラウス
約 200g

セーター
約 300g

スラックス
約 400g

お願い

- 運転終了後、すぐに洗濯物を取り出し、陰干ししてください。長時間放置すると、シワや縮みの原因になります。

お知らせ

- 洗剤の自動投入はしません。【手順4】で入れてください。
- 水量は66【65/64】Lに自動設定されます。お好みで変更できますが、布傷みを防ぐため22Lは設定できません。
- 給水後、洗濯物が浮き上がるときは、一時停止をして上から押さえてください。

準備 水栓を開き、洗濯物を入れる
● 30℃以下の水を使用してください。

1

電源 電源を入れる

2

コース 「おしゃれ着」を選ぶ

必要に応じ、**風呂水** を設定してください。

3

柔軟剤の自動投入(自動/手動)を確認する
「自動投入を設定する」➡P17

4

おしゃれ着用中性洗剤を「手動投入容器(液体洗剤用ケース)」に入れる
● 「洗剤類の使用量【目安】」に合わせて入れてください。➡P21

柔軟剤を手動投入する場合 ➡P18
手動投入容器(柔軟剤投入部)に入れてください。

5

上ぶたを閉め、スタート スタートする
(上ぶたが開いていると運転は始まりません。)

ブザーが鳴ったら、運転終了
水栓を閉じ、糸くずフィルターを掃除してください。

おしゃれ着コース

毛布・ふとんを洗濯する

ふとん・毛布コース

毛布などの大物の洗濯物をたっぷりの水でやさしく洗うコースです。

● **必ず、大物洗い用洗濯ネット(CN-3)をご使用ください。** 別売➡P64

- 使用しないと洗濯物が洗濯・脱水槽からはみ出し脱水中に異常振動し、洗濯物が傷んだり本体が故障したりする原因になります。その場合は保証の対象外になります。

洗濯できるもの

(新表示)  (旧表示) 

毛布

- **アクリルまたはポリエステル100%の毛布**
大きさ：ダブルサイズ(180cm×230cm)以下

洗濯容量 4.5kg 以下

綿毛布

大きさ：シングルサイズ(140cm×200cm)以下

洗濯容量 6kg 以下
1.5kg のもの4枚まで

左の取扱い表示がある毛布・ふとん

ふとん

- **詰め物がポリエステル100%の夏掛けふとん**
大きさ：180cm×210cm以下

洗濯容量 1.8kg 以下 詰め物：1kg 以下

- **洗濯機で洗えると記載されている羽毛掛けふとん**
洗濯後、臭いの残る羽毛ふとんは洗えません。目立たない部分に水をつけて確認してください。

大きさ：150cm×210cm以下

洗濯容量 1.8kg 以下

洗濯できないもの

毛布

- **純毛の毛布**
- **電気毛布**
電気毛布は洗えるものと洗えないものがあります。
電気毛布の取扱説明書に従ってください。
- **ロングパイル(毛足1cm以上)の毛布**
洗濯すると毛倒れるおそれがあります。

ふとん

- **取扱い表示のないもの**
- **側生地がタオル地のもの(毛足1cm以上)**
洗濯すると毛倒れるおそれがあります。
- **詰め物がポリエステル、羽毛以外のもの**



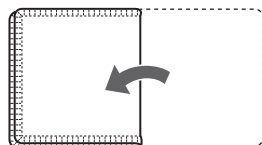
お知らせ ● 厚手やサイズの大きいタオルケットも洗うことができます。

洗濯前の準備

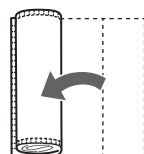
大物洗い用洗濯ネットに入れてください

シングルサイズの場合

1 長い方を
2つ折りにする

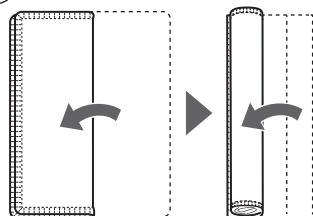


2 同じ方向に
3つ折りにする



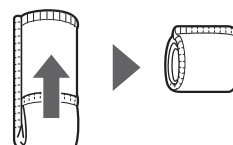
ダブルサイズの場合

1 短い方を
2つ折りにする



2 同じ方向に
3つ折りにする

3 巻く

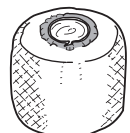


4 フチのある方を下にして
洗濯ネットに入れる



5 ひもを固くリボン結びにする

- リボン部分は洗濯ネットと毛布の
間にはさみ込んでください。



お願い

- ゴミや糸くずは、取り除いておいてください。
- 綿毛布を2枚以上入れる場合は、重ねて折りたたんでください。



■設定できる水位（水量）

水位	水量
高	66【65/64】L 自動設定
	55【53/51】L

【 】は、AQW-VP9A／AQW-VP8Aの場合

お願い

- 洗剤は、入れすぎないようにしてください。すすぎが不十分になることがあります。
- 夏掛けふとん・羽毛掛けふとんは、水に浮かないように均一によく押し込んでください。



お知らせ

- 洗濯時間の短縮と洗濯液を毛布・掛けふとんに吸収させるために、少ない水量から「洗い」が始まります。

手動投入時の洗剤の入れかた

【液体】洗剤

ネットに入った毛布・ふとん全体に行き渡らせるため、洗濯・脱水槽に沿わせて入れてください。

【粉末】合成洗剤・漂白剤

溶け残りをなくするため、あらかじめ約5Lのぬるま湯（約30℃）でよく溶かしてください。溶かさずに入れると白く残ることがあります。

柔軟剤・【液体】漂白剤

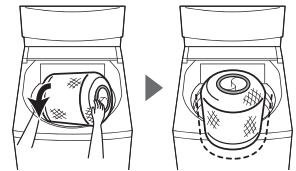
手動投入容器に入れてください。➡P18



準備

水栓を開き、洗濯ネットに入れた毛布・掛けふとんを入れる

- 入れにくいときは、横向きに入れ、洗濯・脱水槽内で、洗濯ネットの口側が上になるように起こす



1

電源
切/入

電源を入れる

2

コース

「ふとん・毛布」を選ぶ

必要に応じ、風呂水 お手入れ を設定してください。

3

自動投入(自動/手動)を確認する

「自動投入を設定する」➡P17

4

上ぶたを閉め、スタート

スタート
一時停止

スタートする

（上ぶたが開いていると運転は始まりません。）

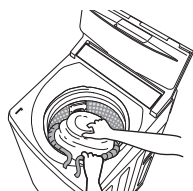
ブザーが鳴ったら、運転終了

水栓を閉じ、糸くずフィルターを掃除してください。

洗濯が終わったら

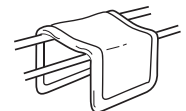
取り出すときは

洗濯ネットのひもをほどき、毛布・掛けふとんの中心部を持って引き出す。



乾燥は

風通しのよい日陰で自然乾燥、または毛布乾燥機能のある衣類乾燥機で乾燥する。



- 毛布は生乾きのうちにブラッシングするときれいに仕上がります。
- 綿毛布・掛けふとんの乾燥は、その取扱表示に従ってください。

ふとん・毛布コース

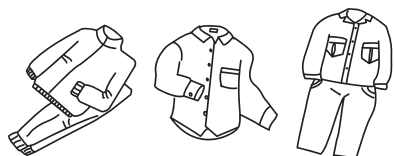
風乾燥をする

洗濯・脱水槽の高速回転で大量の風をとり込み、ヒーターを使わない省エネ方式で洗濯物の水分を飛ばします。少量の化繊混紡衣類の乾燥や、洗濯物の干し時間の短縮に使用します。

- 洗濯物の量・種類、室温・湿度、設置環境により仕上がり具合が変わります。
- 乾きムラや乾燥不足があるときは、その程度に応じて再度運転してください。
- ヒーターを使わないため、洗濯物が冷たく、乾いていないように感じる場合があります。

風乾燥できるもの

- トレーニングウェア・ワイシャツ・作業服など



ほぼ乾燥
できる容量

化繊混紡3kg以下

干し時間を短縮
できる容量

4kg以下

お願い

- フリースなど厚手の衣類を風乾燥するときは、容量を2kg以下にしてください。運転中に飛び出し、破れる原因になります。



お知らせ

- 洗濯物の入れすぎは、乾燥不足や、シワ、洗濯物の飛び出しによる破れの原因になります。

風乾燥できないもの

以下の取扱い表示があるもの

(新表示)



(旧表示)



- 色落ちしやすい衣類
- ウールの衣類
- シワが気になる衣類
綿100%シャツなど
- 型くずれしやすい衣類
肩パット入りなど

- 防水性のマット・シートや衣類など → P6

- 毛布・掛けふとん・シーツ

風乾燥時間と洗濯物(種類・容量)の目安

風乾燥時間	化繊混紡・化繊の乾燥に	干し時間の短縮に
3.5 時間	化繊混紡の衣類 3kg以下	綿の洗濯物が多いときなどに (タオルなど)
2 時間	化繊の衣類 1kg以下	化繊混紡の洗濯物が多いときなどに (ワイシャツなど)
60 分	—	化繊の洗濯物が多いときなどに (ジャージなど)
30 分	—	4kg以下



お知らせ

- 洗濯物をほぐすため定期的にかくはん運転をします。
- 「自分流」コースでは「風乾燥」を記憶します。
- 4H を選ぶと、運転時間は3.5時間になります。
- 手順6 で1分間の待機時間中に、上ぶたを閉め **スタート** を2回押すと、すぐに運転が始まります。

3kgの目安

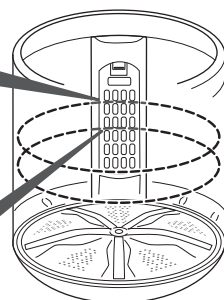
押さえて入れたとき

乾いた洗濯物

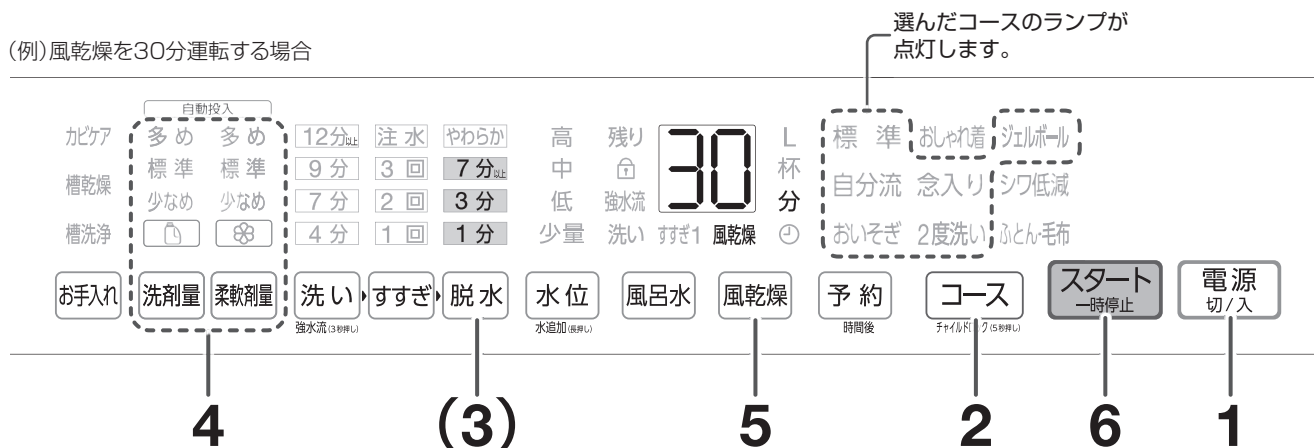
糸くずフィルターの網部
1番上と2番目の間

脱水後の湿った洗濯物

糸くずフィルターの網部
3番目と4番目の間



(例)風乾燥を30分運転する場合



洗濯コース+風乾燥

準備 水栓を開き、洗濯物を入れる

1 **電源切/入** 電源を入れる

2 **コース** コースを選ぶ

- 「おしゃれ着」「シワ低減」「ふとん・毛布」コースは設定できません。

4 **自動投入** (自動/手動)を確認する
「自動投入を設定する」→P17

5 **風乾燥** で時間を選ぶ

- 「風乾燥」ランプが点灯します。



6 **スタート一時停止** スタートする

手動投入する場合 →P18

待機中(約1分間)に入れてください。

7 上ぶたを閉める
(上ぶたが開いていると運転は始まりません。)

ブザーが鳴ったら、運転終了

8 水栓を閉じ、糸くずフィルターを掃除する

風乾燥のみ

準備 乾かしたい洗濯物を入れる

- 洗濯物をほぐして片寄らないように入れてください。振動が少なく乾きがよくなります。

2 上ぶたを閉め、**コース**「標準」を選ぶ

3 **脱水** を押す

6 **スタート一時停止** スタートする

風乾燥をする

コースの運転内容を変更する【好み設定】

各コースの運転内容をお好みで変更して、「洗い」「すすぎ」「脱水」を個別に組み合わせたり、時間やすすぎ回数・方法などの内容を変更したりできます。

お好み設定できる内容 ➡ P25



お知らせ

- 以下のコースの洗剤・洗濯物の入れかたは各ページを参照してください。
「おしゃれ着」コース ➡ P30～31
「ふとん・毛布」コース ➡ P32～33
- 変更した内容は記憶しません。記憶させたいときは、「自分流」コース ➡ P28 をご利用ください。
- すすぎや脱水から始めるときは
・スタートする前に上ぶたを閉めてください。
・洗濯物の片寄りによる異常振動を防ぐため、洗濯物は均等に入れ、上から手で押さえてください。
- 表示されたときは、洗濯物を均等に入れ直してください。
- 手順5 で1分間の待機時間中に、上ぶたを閉め を2回押すと、すぐに運転が始まります。

準備 水栓を開き、洗濯物を入れる

1 電源切/入 電源を入れる

2 コース コースを選ぶ

3 自動投入(自動/手動)を確認する

「自動投入を設定する」➡P17

4 洗い すすぎ 脱水 を押し、洗い時間、すすぎ回数・方法、脱水時間を設定する

必要に応じ、風呂水 風乾燥 お手入れ を設定してください。

5 スタート一時停止 スタートする

手動投入する場合 ➡ P18

布量検知の待機中(約1分間)に入れてください。

6 上ぶたを閉める
(上ぶたが開いていると運転は始まりません。)

ブザーが鳴ったら、運転終了

水栓を閉じ、糸くずフィルターを掃除してください。

コースによって設定するボタンが異なります。下記コースに従って操作してください。

洗い

すすぎ

脱水

ボタンを押して、
時間や回数を設定してください。

洗い

すすぎ

脱水

ボタンを押して、
時間や回数の表示を消灯させてください。

(例)「脱水」のみ(8分)運転する場合

12分

注水

やわらか

高

残り

8

標準

おしゅれ着

9分

3回

7分

中

台

杯

標準

おしゅれ着

7分

2回

3分

低

強水流

分

自分流

念入り

4分

1回

1分

少量

洗い

すすぎ

風乾燥

の

おしゅれ着

2度洗い

洗剤量

洗い

すすぎ

脱水

水位

風呂水

風乾燥

予約

コース

4 脱水のみ押す

12分

注水

やわらか

高

残り

8

標準

おしゅれ着

9分

3回

7分

中

台

杯

標準

おしゅれ着

7分

2回

3分

低

強水流

分

自分流

念入り

4分

1回

1分

少量

洗い

すすぎ

風乾燥

の

おしゅれ着

2度洗い

洗剤量

洗い

すすぎ

脱水

水位

風呂水

風乾燥

予約

コース

洗いとすすぎを「なし」に設定
4

こんなとき	運転内容	標準・おいそぎ・ 念入り・ジェルボール・ シワ低減	自分流・おしゅれ着・ 2度洗い・ふとん・毛布
脱水だけしたいとき	脱水のみ 水があれば排水から 始めます。	脱水	洗いすすぎ脱水
洗いだけしたいとき	洗いのみ 水は残ります。	洗い	洗いすすぎ脱水
予洗いしたいとき のりづけしたいとき	洗い→脱水	洗い脱水	洗いすすぎ脱水
すすぎの水を再利用したいとき すぐ干さないとき	洗い→すすぎ 水は残ります。	洗すす	洗すす脱水
すすぎだけしたいとき	すすぎのみ 排水→脱水から始めます。 水は残ります。	すすぎ	洗すす脱水
すすいで脱水したいとき	すすぎ→脱水 排水→脱水から始めます。	すすぎ脱水	洗すす脱水
洗い時間、すすぎ回数・方法、 脱水時間を変更したいとき	洗い→すすぎ→脱水	洗すす脱水	洗すす脱水
排水だけしたいとき	排水のみ	脱水	洗すす脱水
		設定したら、次の操作をして運転終了してください。 スタート—一時停止 スタートし、洗濯・脱水槽の高速回転が始まったら、 電源切/入 電源を切る	

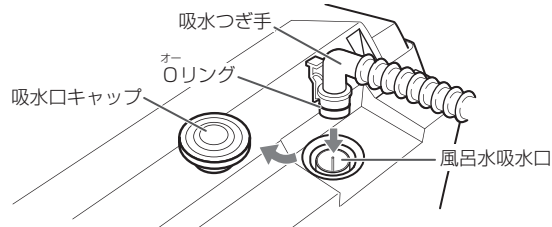
コースの運転内容を変更する

風呂水を使って洗濯する

風呂水吸水ホースの準備

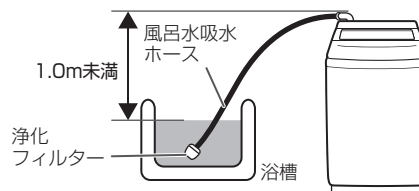
1 吸水口キャップをはずし、吸水つぎ手を風呂水吸水口に差し込む

- 吸水口キャップはなくさないよう保管してください。
- 上に持ち上げてはずれないか確認してください。
- ^オリングは、はずしたり傷付けたりしないでください。吸水できなくなります。



2 浄化フィルターを浴槽に沈める

- 風呂水吸水ホースの最も高い位置から水面までの高さは、1.0m未満にしてください。



風呂水吸水ホースが短い場合
…別売の風呂水吸水ホース
をお買い求めください。 別売➡P64

セット時のご注意

▶ 高い壁を越えるときは、たるみをなくす

- 吸水できません。



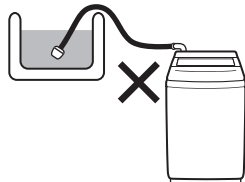
▶ 巻いたまま使わない

- 吸水できません。



▶ 本体が浴槽の水面より低い場所では使わない

- サイフォン現象により、水があふれます。



▶ 風呂水吸水ホースを傷付けない

- 吸水できません。
- ▷ 引き戸などで、はさまない
- ▷ 無理な力をかけたり、引っ張ったり、ふんだりしない
- ▷ コンクリート角やとがった金属物(サッシ窓や浴室ドア)とのこすれに気をつける

風呂水吸水ホースの片付け

使わないときは、本体から風呂水吸水ホースを取りはずしてください。

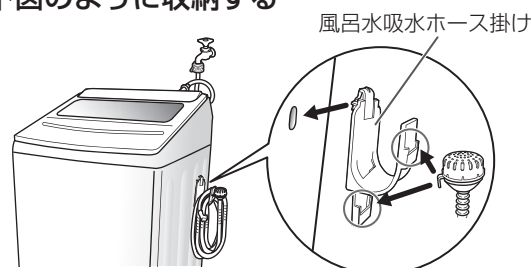
1 浴槽から浄化フィルターを取り出し、本体から吸水つぎ手を取りはずし風呂水吸水ホース内の残水を抜く

お手入れ 風呂水吸水口 1・2 ➡P48

- 洗濯物は洗濯・脱水槽から出しておいってください。
- 浄化フィルターを浴槽に入れたまま、吸水つぎ手ははずさないでください。

2 風呂水吸水口に吸水口キャップをする

3 風呂水吸水ホース掛けを本体に掛け、下図のように収納する



お知らせ • 風呂水吸水ホース内の残水が手動投入容器内に残ることがあります。

風呂水を設定する

- 風呂水の設定は毎回行ってください。

・電源を入れ、風呂水を押すと、前回設定した風呂水の内容が点灯します

風呂水使用行程の設定のしかた

風呂水	風呂水表示 洗い すすぎ1	洗い ▶ すすぎ1
1回押す	洗い すすぎ1	
2回押す	洗い すすぎ1	
3回押す	洗い すすぎ1	風呂水は 使用しません

「すすぎ1」まで風呂水を設定すると

- すすぎが1回の場合でも、風呂水になります。
- すすぎが2回以上の場合、2回目以降のすすぎは水道水になります。
- 「標準」「自分流」コースのシャワーすすぎは、ためすすぎ、または注水すすぎに変わります。
- 注水すすぎでは、設定水位までは風呂水、その後は水道水になります。

はじめは水道水による給水

水道水の給水



風呂水の吸水

- 風呂水ポンプへの呼び水のため、風呂水吸水前に水道水が給水されます。
- ホース内の空気を抜くため、風呂水を吸水するまで約1分かかります。

お願い

- 入浴剤は柔軟剤と反応して衣類にうすい変色をおこすことがあります。入浴剤の注意書を確認してください。変色した場合は、すぐに洗剤を入れて洗濯してください。
- 発泡性のある入浴剤では、ポンプ内部の発泡により吸水できない場合があります。ゼリー・とろみタイプでは、ポンプを傷めたりして吸水できない場合があります。



お知らせ

- 風呂水を正しく吸水しなかったり洗濯途中で風呂水がなくなった場合は、水道水に切り換わり、選んでいる風呂水表示を点滅させながら運転を継続します。
- 洗いの始めから風呂水を正しく吸水せずに水道水に切り換わった場合、運転終了後、20分間  が点滅します。→P62

購入後、初めて使用するときは

水道水による運転を行ってください。

- 本体内蔵の風呂水ポンプの中に、風呂水を吸い上げる運転に必要な一定量の水(呼び水)を給水させるためです。

準備

水栓を開き、洗濯物を入れる

- 水栓は必ず開いてください。
呼び水や水道水によるすすぎ時、柔軟剤の投入時、吸水中に風呂水がなくなったときに、水道水が必要です。

1

電源
切/入

電源を入れる

2

コース

使用するコースを選ぶ

3

風呂水

風呂水の使用行程を設定する

- 「2度洗い」「ジェルボール」コースでは、「洗い」のみ設定できます。

4

浄化フィルターが浴槽の水中に
沈んでいることを確認して

スタート
一時停止

スタートする

5

上ぶたを閉める

(上ぶたが開いていると運転は始まりません。)

ブザーが鳴ったら、運転終了

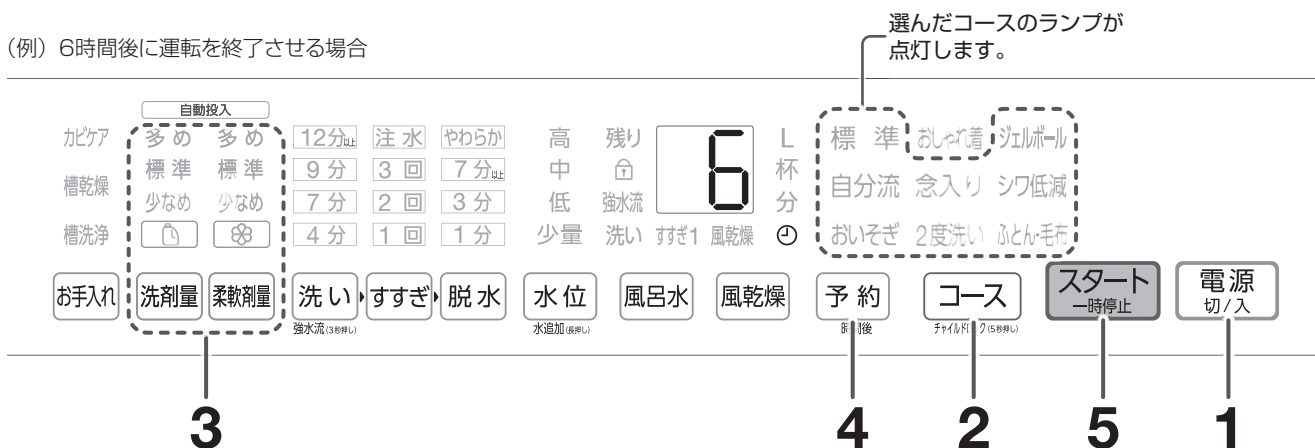
水栓を閉じ、糸くずフィルターを掃除してください。

風呂水を使って洗濯する

予約運転をする

運転終了までの時間を予約できます。

(例) 6時間後に運転を終了させる場合



お願い

- 水栓からの水もれがないか確認してください。
- 色移りしやすい衣類は、一緒に洗濯しないでください。
- 衣類のシワ付きを防ぐため、運転終了後すぐに干してください。

ジェルボール型洗剤

直接、「洗濯・脱水槽」内に入れてください。その際、ぬれた洗濯物から離し、洗剤に水分がつかないようにしてください。(洗剤が流れ出てシミ・色落ちの原因)

粉石けん・液体石けん

固まる場合があるため、使わないでください。

漂白剤

酸素系をお使いください。塩素系は変色や損傷の原因になるため、使わないでください。



お知らせ

- 「ふとん・毛布」コースの洗剤・洗濯物の入れかたは、P32~33を参照してください。
- 停電時や電源プラグをコンセントから抜いたときは、予約が取り消されます。
- 運転終了時間は、水道水圧・排水条件などで変わります。
- 運転終了時間は、「風乾燥」は5~24時間の範囲で設定できます。
- 「おしゃれ着」コースでは、設定できません。

予約待機中の運転内容の確認

予約を押す (5秒間表示)

予約の取り消し

電源を切る

予約の変更

電源を切り設定し直す

準備

水栓を開き、洗濯物を入れる

1

電源切/入

電源を入れる

2

コース

コースを選ぶ

必要に応じ、風呂水 風乾燥 お手入れ を設定してください。

3

自動投入 (自動 / 手動) を確認する

「自動投入を設定する」→P17

4

予約

運転終了までの時間を設定する

- 2時間後から24時間後までを1時間単位で予約できます。
- 予約時間の表示は「消灯」から始まりますので、2回以上押して時間を選んでください。

5

スタート一時停止

スタートする

- 水の無い状態でパルセーターが回転し、水量・洗剤量を表示します。(「2度洗い」「ふとん・毛布」コースを除く)

布量検知→P12

- スタートして約1分後、予約表示以外が消灯します。

手動投入する場合

予約時の洗剤類の入れかた →P19

6

上ぶたを閉める

(上ぶたが開いていると運転は始まりません。)

ブザーが鳴ったら、運転終了

水栓を閉じ、糸くずフィルターを掃除してください。

こんなとき

自動で決まる水量を増やしたい／減らしたい

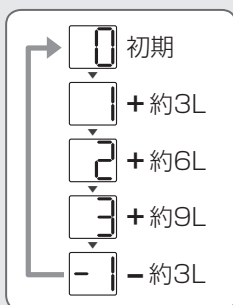
自動で決まる水量を、少なめや多めに調節することができます。洗濯する前にあらかじめ設定してください。

- 1 **電源** 電源を入れる
- 2 **水位** を押しながら、**スタート** を約3秒間押し続ける

- 「ピッ」と鳴り、 (初期) を表示

- 3 **水位** を押して、水量を調節する

- 押すたびに調節する水量が変わります。
- 水量は、洗濯物の量や質・水道水圧により変わります。
- 最低水量24L～最高水量66【65／64】Lの範囲内で調節されます。



- 4 **スタート** を押す

解除

設定時と同じ操作をする

- (初期) に設定する



お知らせ

- 洗濯物の動きをよくしたいときは、「増やす」設定をしてください。
- 電源を切っても設定内容を記憶しています。

【 】は、AQW-VP9A／AQW-VP8Aの場合

洗いの水流を強くしたい(強水流)

洗浄力を高めるため、より強い水流で洗いをを行います。

- 購入時は設定されていません。

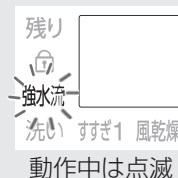
強水流を設定できるコース

「標準」「自分流」「おいそぎ」「念入り」「2度洗い」「ジェルボール」コース

- 1 **電源** 電源を入れる

- 2 **洗い** を約3秒間押し続ける

- 「ピー」と鳴り、設定完了。
「強水流」ランプが点灯します



解除

設定時と同じ操作をする

- 「ピピッ」と鳴り、解除完了。
「強水流」ランプが消灯します

お願い

- 生地が傷みやすい洗濯物は、「強水流」で洗わないでください。



お知らせ

- 洗濯物の動きをよくしたいときに設定してください。
- 動作中は強水流ランプが点滅します。点滅中でも水流が変わらない場合があります。
- 次のようなときは「強水流」になりません。
 - ・水量が 66【65／64】L のとき
 - ・手動で水量を 55【53／51】L 以上に設定したとき
- 電源を切っても設定を記憶しています。
- スタート後は設定／解除できません。

【 】は、AQW-VP9A／AQW-VP8Aの場合

水を追加したい

「洗い」「すすぎ」の運転中に **水位** を押し続ける

- 押している間、水を追加します。
- 水を追加しても水量表示は変わりません。
- 満水になると注水は止まります。

こんなとき（つづき）

脱水が弱いと感じる（脱水時間の延長）

設定すると脱水時間を自動で4分延長します。

- 購入時は設定されていません。

脱水を延長するコース

「標準」「念入り」「2度洗い」「ジェルボール」コース

- 電源** 電源を入れる
 - 脱水** を約3秒間押し続ける
- 脱水ランプ
- 「ピー」と鳴り、と脱水ランプが点滅したら設定完了

解除

設定時と同じ操作をする

- 「ピピッ」と鳴り、と脱水ランプが点滅したら解除完了



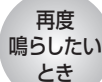
お知らせ

- 「洗い」「すすぎ」「脱水」を個別に設定した場合は、延長時間は反映されません。
- 電源を入れたとき、と脱水ランプが点滅した場合は、脱水時間延長が設定されています。
- 電源を切っても設定を記憶しています。
- スタート後は設定／解除できません。

終了ブザー音を消したい

電源「入」の状態、**スタート** を約3秒間押し続ける

- 設定が完了すると「ピー」と鳴り、同時に運転が始まります。



設定時と同じ操作をする

- 「ピピッ」と鳴り、設定完了

- 運転しない場合は、電源を切ってください。
- 電源を切っても設定内容を記憶しています。

のりづけをしたい

洗濯容量

1.5kg以下

使用できるのり

洗濯機用の化学合成のり（酢酸ビニール系）

- 故障の原因になるため、上記以外は使わないでください。

- 水栓を開き、洗濯物を入れる
 - 電源** 電源を入れ、**「自動投入をやめる」**設定にする ➔ P17
 - コース** 「標準」を選び、**水位**（下表参照）・**洗い** 「3分」・**脱水** 「1分」を設定する
- | 水位 | 水量 | 洗える量 |
|----|------------|---------|
| 高 | 55[53/51]L | 1.5kg以下 |
| 中 | 46L | 0.5kg以下 |
- スタート** スタートし、上ぶたを閉める
 - 給水が止まったら、**スタート** 一時停止し、上ぶたを開け、洗濯のりを「洗濯・脱水槽」内に均等に入れる
 - 上ぶたを閉め、**スタート** 一時停止 再スタートする
 - 運転終了後、できるだけ早く洗濯物を取り出す

お願い

- のりづけした洗濯物は、衣類乾燥機で乾かさないうでください。（乾燥機のフィルター目詰まりの原因）
- 糸くずフィルターを掃除してください。たまった糸くずなどが、のりで固まって取れにくくなります。

糸くずフィルター ➔ P47

のりづけ後は洗濯・脱水槽を洗ってください
のりが残っていると、故障の原因になります。

- 洗濯物を取り出した後、**電源** 電源を入れる
 - コース** 「標準」を選び、**水位** 「66(65/64) L」・**洗い** 「6分」・**脱水** 「1分」を設定する
 - 上ぶたを閉め、**スタート** スタートする
- 運転終了後、水栓を閉じてください。

【 】は、AQW-VP9A/AQW-VP8Aの場合

凍結のおそれがある

脱水運転終了後も、給水ホースや本体内部には水が少し残っています。気温が低くなると、その水が凍結してしまうことがあります。

凍結防止方法

その1 凍結防止（残水排水）設定をする

脱水運転が終了して9分後、残水を自動で排水します。
設定すると運転終了から10分間  を表示します。

-  電源を入れる
-  を押しながら  を約3秒間押し続ける
 - 「ピー」と鳴り、設定完了

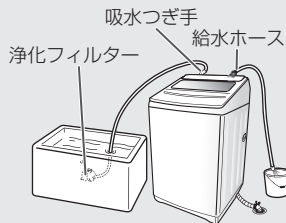
解除

設定時と同じ操作をする
• 「ピピッ」と鳴り、解除完了

- 電源を切っても設定内容を記憶しています。

その2 給水ホース・風呂水吸水ホース・本体内部の水を抜く

- 水栓を閉じ、上ぶたを閉める
-  電源を入れ、
 「おしゃれ着」を選ぶ
-  スタートし、
すぐに  電源を切る
 - 給水ホース内の水を抜き、水圧を下げて水の飛び散りを防ぐためです。
- 給水ホースの水栓側をはずし、
給水ホース内の残水をバケツなどで受ける
- 浴槽から浄化フィルターを取り出す
-  電源を入れ、
 「おしゃれ着」を選び、 を押す
-  スタートし、
約1分後に  電源を切る
 - 風呂水吸水ホース内の残水を吸い上げるためです。



- 吸水つぎ手を風呂水吸水口からはずし、
風呂水吸水ホース内の残水をバケツなどで受ける

-  電源を入れ、 「標準」を選び、
 「1分」を設定する

-  スタートする
 - 本体内部の水を排水するためです。

その3 風呂水ポンプ部を保温する

内蔵している風呂水ポンプには常に水が入っています。
本体の後ろ上部に毛布などをかぶせて保温してください。



凍結したときは…

- 給水ホースの接続部を蒸しタオルで包む
 - 蒸しタオルで包む
- 水栓を閉じ、給水ホースをはずし、
お湯(50℃未満)につける
 - 風呂水吸水ホース・
浄化フィルターも同様にお湯につける。
- 約2Lのお湯(50℃未満)を
洗濯・脱水槽に入れ、約10分間放置する
- 給水ホース・風呂水吸水ホースを
つないで水栓を開き、次の内容を確認する
 - 手でパルセーターが回せるか
 - 運転して給水・排水するか
 - 風呂水を吸水するか

お願い

- 風呂水ポンプ・風呂水吸水ホースなどは、凍結した状態で使わないでください。(故障の原因)

お手入れ

洗濯・脱水槽

洗濯・脱水槽の黒カビや臭いの発生を抑えるために、「カビケア／槽乾燥」を設定しておく便利です。

洗濯・脱水槽の日頃のお手入れ	
カビケア ➡ P14	槽の除菌や、黒カビの発育を抑えることができます。
槽乾燥 ➡ P14	脱水運転終了後、洗濯・脱水槽を高速回転させて槽内の水分を取り除きます。

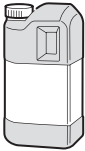
- 使わないときは、上ぶたを開放して洗濯・脱水槽の水分を取り除いてください。

さびが付かないようご注意ください。万が一付いたらお手入れしてください。

さびのお手入れ	
予防のために	• 赤さびの混じった水やヘアピンなどさびやすいものを入れないでください。 • 水を入れたまま長時間放置しないでください。
さびが付いたら (もらいさび)	やわらかい布かスポンジに、市販のクリームクレンザーを付けてさびを拭き取ってください。 • 洗濯・脱水槽を傷めるため、金属たわしなどは使わないでください。 

洗濯・脱水槽の臭いを抑えたいときや、汚れや臭いが気になったら「槽洗浄」でお手入れしてください。
洗濯物を入れずに運転してください。

槽洗浄(3時間・12時間)

	運転時間	こんなときに	使用するクリーナー
槽洗浄 ➡ P45	3時間	• 「槽洗浄」ランプが点滅したら ➡ P14 洗濯・脱水槽の臭いの発生を抑えたいとき 	• 市販の塩素系洗濯槽クリーナー • 衣類用塩素系漂白剤
	12時間	• 洗濯・脱水槽から臭いが発生したら • 茶色い汚れが洗濯物に付いたら	• 洗濯槽クリーナー (SWCLEAN-2) 別売 ➡ P64 

洗濯槽クリーナーを使うときは

- 換気を十分にしてください。
- 洗濯槽クリーナーの説明書をよくお読みください。
- ゴム手袋などをして肌を保護してください。
- 本体に付着したら、すぐに拭き取ってください。

洗濯・脱水槽（つづき）

（例）槽洗浄（12時間）の場合



お願い

- 酸素系漂白剤や台所用漂白剤は使わないでください。
（泡が大量に発生し水もれの原因）
- 洗浄液を入れたまま24時間以上放置しないでください。
（故障の原因）



お知らせ

- 運転内容の変更はできません。
- 残時間は運転が進むと、以下のように表示が変わります。



準備 水栓を開く

- 糸くずフィルターが掃除されていることを確認してください。
- 洗濯物はいれないでください。

1

電源 切/入

電源を入れる

2

お手入れ

を押し、「槽洗浄」(3時間)または(12時間)を選ぶ



3

スタート 一時停止

スタートする

4

給水が止まったら、スタート 一時停止 し、洗濯槽クリーナーなど(左表参照)を「洗濯・脱水槽」内に入れる

5

上ぶたを閉め、スタート 一時停止 再スタートする

- 洗濯槽クリーナーを混ぜるための数分間のかくはん後、約2時間または11時間つけおきをします。その後、洗い・すすぎ・脱水をします。

ブザーが鳴ったら、運転終了

- 水栓を閉じ、糸くずフィルターを掃除してください。
- 浮き出た洗剤カスを拭き取ってください。

クリーナーの種類	使用量
衣類用の塩素系漂白剤	200mL
市販の塩素系洗濯槽クリーナー	容器に記載の使用量をご確認ください。
洗濯槽クリーナー (SWCLEAN-2)	1.5L(全量)

お手入れ

お手入れ (つづき)

2～3カ月に
1回程度

汚れたら

自動投入タンク・経路

次のような場合にお手入れしてください。

- 2～3カ月ごと
- 自動投入されなくなったとき
- 1カ月以上自動投入を使わなかったとき
- 洗剤・柔軟剤などを間違えて入れてしまったとき
- タンク内の残量が少ない状態で1週間以上補充しなかったとき
- タンク内の洗剤・柔軟剤がゼリー状になったとき

投入する液体洗剤や柔軟剤などを
変更するときもタンクの洗浄をしてください。

液体洗剤・柔軟剤は同時にお手入れできません。別々に行ってください。

1 水栓を開き、電源 切/入 電源を入れる

- 洗濯・脱水槽内に衣類を入れないでください。

2 自動投入タンクを取りはずす

- タンク下部のロックを押して引き出す
- タンクを斜め上に引き抜く



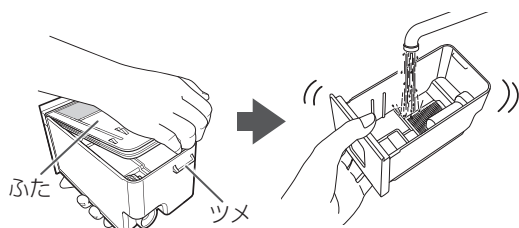
- 液体が入ったままタンクを引き出すと、液剤がもれることがあります。その場合はすぐに拭き取ってください。

お願い

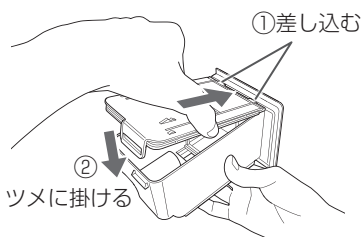
- ジョイント部は拭かないでください。(傷がついて液剤がもれる原因)



3 ふたをはずし、ぬめりが取れるまでタンクの中を水洗いする

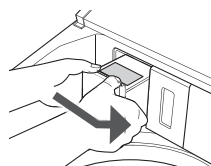


4 ふたをはめる



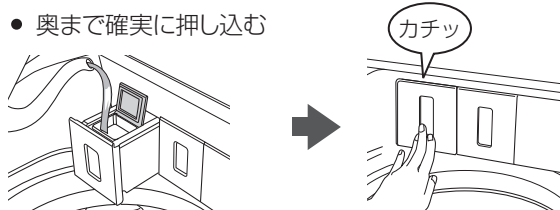
5 タンクを取り付ける

- 斜め上から差し込む



6 約40℃のお湯を300mL程度タンクに入れ、タンクを閉める

- 奥まで確実に押し込む



7 洗い スタート 一時停止 を押しながら、スタート 一時停止 を約3秒間押す

- 「ピッ」と鳴り、自動投入ランプが点滅します。



8 「洗剤」タンクを洗浄する場合は 洗剤量 を押す (「柔軟剤」タンクの洗浄は 柔軟剤量 を押す)

- 「洗剤量」ランプのみ点灯し、残時間「5分」と表示します。



9 スタート 一時停止 スタートする

- 洗浄運転が始まります。

10 約5分後、ブザーが鳴ったら、運転終了

- 経路洗浄水は自動で排水されます。

11 タンクを取りはずし、残った水を捨て、水分を拭き取る

12 タンクを取り付ける

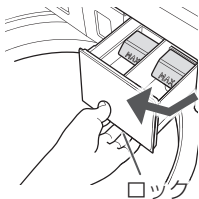
- 自動投入タンクは斜め上から差し込む
- 奥まで確実に押し込む



洗剤や柔軟剤などが付着していると、容器内に水が残る原因になります。

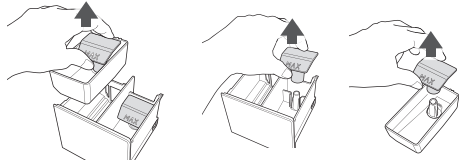
1 手動投入容器を取りはずす

- 容器下部のロックを押して引き出す
- 容器を斜め上に引き抜く

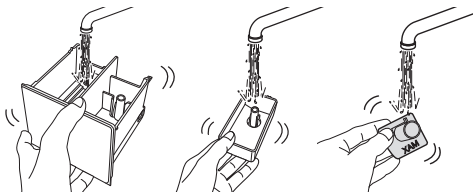


2 キャップと液体洗剤用ケースをははずす

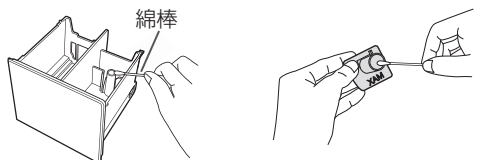
- 液体洗剤用ケース、キャップは上方向に抜いてください。



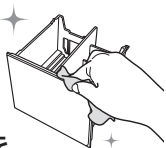
3 手動投入容器、液体洗剤用ケース、キャップを水洗いする



- 容器・ケースとキャップの裏の筒は綿棒などで奥まで掃除してください。

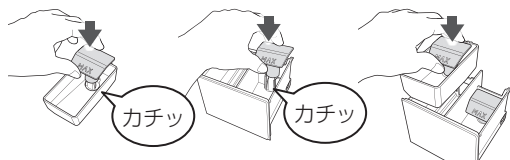


- 洗ったあとはやわらかい布で水分を拭き取ってください。

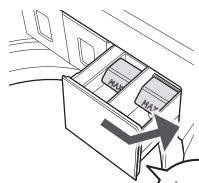


4 液体洗剤用ケースとキャップを元どおりに取り付ける

- キャップは必ず底につくまで押し込んでください。洗剤・柔軟剤などが投入できなくなります。



5 手動投入容器を斜め上から差し込み、奥まで押し込む



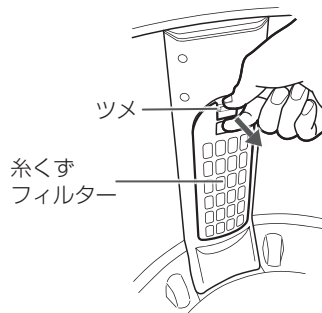
お願い

- 運転中にお手入れをしないでください。
- 「手動投入容器」をははずしたまま運転しないでください。(水もれの原因)

ネットが目詰まりすると、ゴミが取れにくくなります。

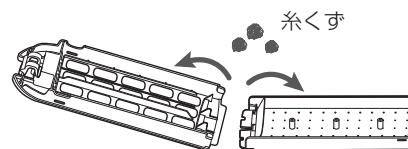
1 上部をつまみ、手前に引いてははずす

- 糸くずフィルターは2カ所あります。

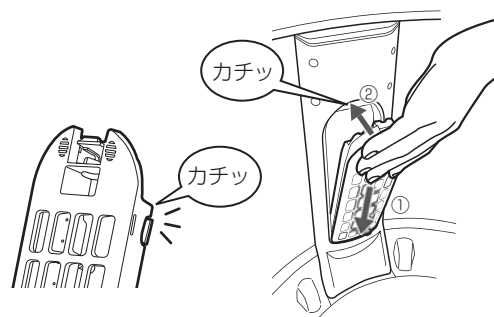


2 裏返して糸くずフィルターを開け、糸くずを取り除く

- 取れにくいときは水洗いしてください。



3 糸くずフィルターを閉じ、元の場所に差し込んでから①、全体を押し込む②



お願い

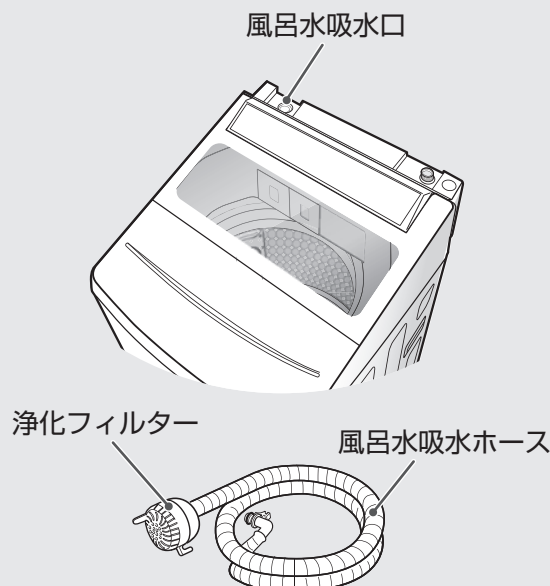
- 必ず確実に取り付け洗濯してください。(衣類が傷む原因)
- お手入れは毎回行ってください。糸くずをためたまま洗濯をするとネット部の寿命が短くなったり、糸くずが逆流して洗濯物に付いたりする場合があります。



お知らせ

- 消耗部品のため、ネットが破れたときは、お買い上げの販売店にてお問い合わせください。別売➡P64

お手入れ (つづき)



風呂水吸水 ホース関係



お手入れの前に…洗濯物は、洗濯・脱水槽から出して置いてください。

- 風呂水吸水ホースの残水でぬれるのを防ぐためです。

風呂水吸水時間が
長くなったら

風呂水吸水ホース



別売の洗濯槽クリーナーで洗浄します。 別売→P64

1 浴槽から浄化フィルターを取り出し、
本体から風呂水吸水ホースを取りはずす
風呂水吸水口 1・2 参照

2 浄化フィルターのストレーナを左に回して
はずす 浄化フィルター1 参照

3 風呂水吸水ホースをバケツ
などに入れ、吸水つぎ手を
固定する

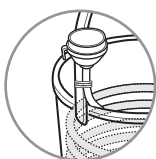
4 うすめた洗濯槽クリーナーを
フィルターカバーに流し込む

- 洗濯槽クリーナー(15mL)は
水(500mL)でうすめてください。
- あふれないように少しずつ入れてください。

お願い

- ゴム手袋などをして肌を保護してください。
- 衣類に付かないように注意してください。

5 フィルターカバーを固定し、
約6時間つけおきする



6 風呂水吸水ホースの内部を水道水ですすぐ

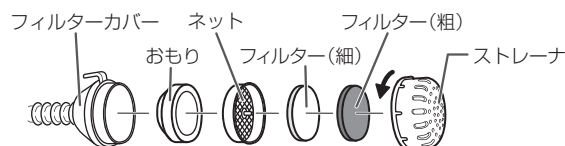
7 元どおりに取り付ける

週1回
程度

浄化フィルター



1 ストレーナを左に回してはずす



2 ストレーナとフィルター(細)・(粗)、
ネットを水洗いする

3 元どおりに取り付ける

- ① おもり、ネット、フィルター(細)、
フィルター(粗)の順にフィルターカバーに
はめ込む
- ② ストレーナをフィルターカバーにかぶせ、
右方向へ止まるまで回して取り付ける



お知らせ

- フィルター(細)・(粗)は消耗部品です。お買い上げの
販売店にご相談のうえ、お買い求めください。

別売→P64

- ゴミが詰まったまま使用すると、風呂水の出かたが
悪くなり、吸水量不足で自動的に水道水に切り換わ
る場合があります。

月1回
程度

風呂水吸水口 (ポンプフィルター)

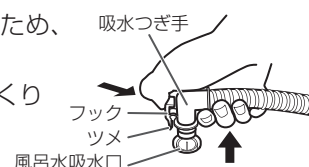


1 浴槽から浄化フィルターを取り出す

- 排水できるところに置いてください。

2 吸水つぎ手を取りはずし、
風呂水吸水ホース内の残水を抜く

- 水の飛び散りを防ぐため、
フックを指で押し、
ツメをはずしてゆっくり
持ち上げます。



3 ポンプフィルターを取り出し、
ゴミを洗い流す

- ポンプフィルターの中央
の突起を前後左右に倒し
気味にして取ると簡単に
取り出せます。



4 元どおりに取り付ける

- ポンプフィルターは、必ず取り付けてください。
(風呂水ポンプの故障の原因)



お知らせ

- ゴミが詰まったまま使用すると、風呂水の出かたが
悪くなります。

汚れたら

本 体

水滴・糸くず・汚れが付いたら…

水を含ませたやわらかい布で拭いてください。

- 汚れがひどい場合は、うすめた台所用中性洗剤または石けん水を付けて拭き取った後、絞ったやわらかい布で水拭きしてください。

ご注意

- 上ぶたなどのプラスチック部分や本体に、洗剤・柔軟剤・漂白剤が付いた場合…すぐに水を含ませたやわらかい布で拭き取ってください。放置するとプラスチック部品が割れる原因になります。
- 住宅用合成洗剤・クレンザー・ベンジン・シンナーなどで拭かないでください。プラスチック部品を傷めます。
- 化学ぞうきんを使用する場合は、その注意書に従ってください。
- 上ぶた(ガラス面)に薬品やガラスクリーナーなどを使わないでください。周辺部品のさびや破損の原因になります。

月1回
程度

E2を
表示したら

排 水 口

排水口には糸くずや汚れがたまりやすいため、定期的に糸くずなどを取り除いてください。

- 放置すると臭いや水もれ、排水できない原因になります。



給水時間が
長くなったら

E1を
表示したら

給 水 口

給水口にゴミがたまると、水の出かたが悪くなります。

1 水栓を閉じ、上ぶたを閉める

2 電源切/入 電源を入れ

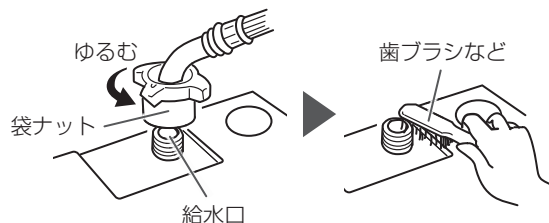
コース 「おしゃれ着」を選ぶ

3 スタート一時停止 スタートし、

すぐに 電源切/入 電源を切る

- 給水ホース内の水を抜き、水圧を下げて水の飛び散りを防ぐためです。

4 袋ナットをゆるめてはずし、 歯ブラシなどでゴミを取り除く



5 袋ナットを傾きのないように 確実に締め付ける (傾いて取り付けると水もれの原因)

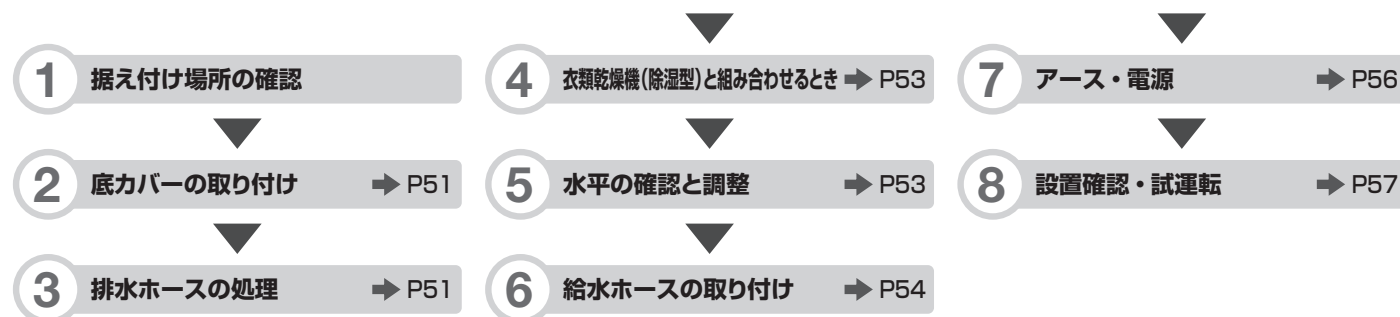
据え付け

据え付けは販売店または専門業者にご依頼ください

この据え付けかたどおりに設置・取り付けをしないと事故・損害を生じても当社は一切責任を負えません。

据え付け前に、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。

据え付け後は、必ず試運転をして、水もれや異常音が発生しないことを確認してください。



準備 据え付け前に排水口の掃除をしてください。

- 排水口に糸くずや汚れがたまっていると、臭いや水もれ、排水できない原因になります。

1

据え付け場所の確認



警告



浴室などの湿気の多い場所や風雨にさらされる場所には据え付けない

(感電・漏電火災の原因)

お願い

- 本体を移動するときは側面のとっ手を持ってください。本体を引きずると脚ゴムがはずれ、運転中に振動・異常音が発生するおそれがあります。



お知らせ

- 洗濯・脱水槽に水滴が残っていたり排水ホースから水が出たりすることがありますが、工場での検査時のものです。故障や不良ではありません。

次のような場所には、設置しない

- 直射日光のあたる場所
(プラスチック部品の変色・変形の原因)
- 冬期に凍結のおそれのある場所
- 平らでない床・弱い床・タイルなどのすべりやすい床の上
振動や騒音が大きくなります。床が弱いときは、お買い上げの販売店にご相談ください。
- ブロック・レンガ・角材やキャスター付きの台の上などの不安定な場所
(振動や騒音、本体が倒れる原因)
- 高い置台の上
(振動による本体の落下により、
けが、本体・壁・床の破損、水もれなどの原因)

テレビ・ラジオなどの家電製品に近付けない
(画像の乱れ・雑音の原因)

包装用台座は据え付け台として使わない
(本体故障の原因)

本体は前方や上方を開放し、
壁から表の寸法以上離すこと

異常な振動や音を防ぐためです。

場所	離隔距離(cm)
左方	※1.5
右方	※1.5
後方	1.5
下方	0

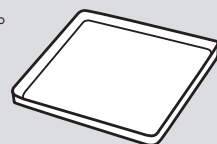


※排水ホース側は、壁から8cm以上、
真下排水パイプを使用した場合、
排水ホース側は、壁から15cm以上

洗濯機トレーの使用をおすすめします

気温と水温の差が大きいと、本体の内側に結露(露付き)が生じます。
この結露や水はねで床がぬれるのを防ぐためです。

別売 → P64

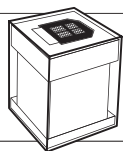


2 底カバーの取り付け

警告



底部から手足が入る場合は、付属の底カバーを取り付ける
(回転部などで手足のけがや感電の原因)



底カバーは上側の梱包材の中に収納されています。必ず取り出してください。
ネジは給水ホースの袋に入っています。

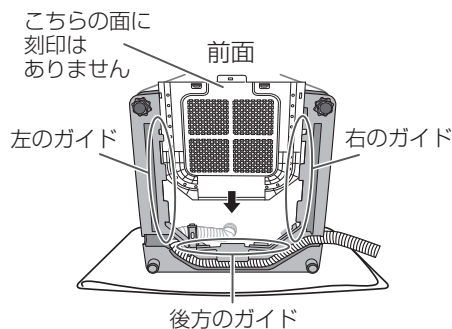
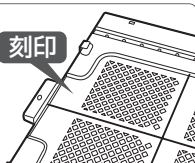
- 1 毛布などを敷き、本体を後側へ静かに倒す
(上ぶたが開かないようにテープなどで固定する)

ご注意

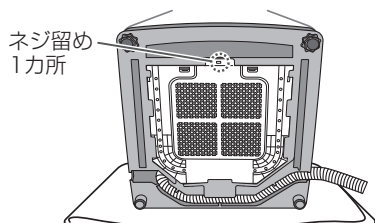
- 上ぶたが勢いよく開き、けがをするおそれや、部品の破損や故障の原因になりますので静かに倒してください。

- 2 本体の左右のガイドに沿って底カバーを差し込み、後方のガイドに当たるまで押し込む

底カバーは刻印(「UP」「FRONT」)のある面が本体の内側になるように差し込む



- 3 1カ所をネジ留めし、固定する



- 4 本体をゆっくり起こす

3 排水ホースの処理

排水ホースを左側に付け換える場合

出荷時、排水ホースは本体右側から引き出されています。

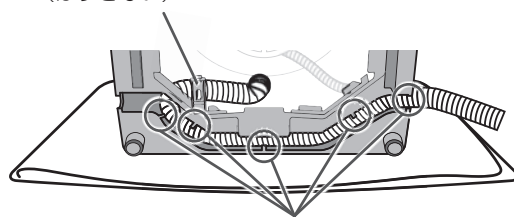
排水口の位置が本体左側にある場合は、次の手順で付け換えてください。

※わかりやすいよう底カバー取り付け前の図で説明しています。

- 1 毛布などを敷き、本体を後側へ静かに倒す
(上ぶたが開かないようにテープなどで固定する)

- 2 ガイド5カ所から、排水ホースをはずす

排水ホース固定部
(はずさない)

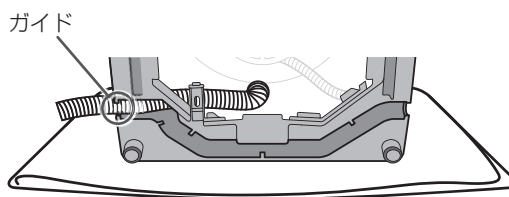


ガイド(はずす)

ご注意

- 排水ホース固定部は絶対にはずさないでください。
(水もれ・異常振動の原因)

- 3 ガイド1カ所に排水ホースをはめ込む



- 4 本体をゆっくり起こす

- 5 フックをずらし、排水ホースを排水口に差し込む

- 取り付けなくてもよい場合でも、引っ越しなどで必要になる場合がありますので、底カバーは大切に保管してください。

据え付け (つづき)

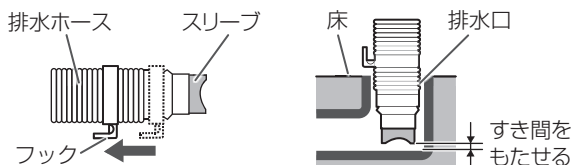
3

排水ホースの処理 (つづき)

排水ホースを排水口に差し込む

フックをずらし、排水口に差し込む

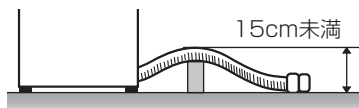
スリーブは、排水ホース先端がふさがれて排水が悪くならないようにすき間をもたせるものです。必ず取り付けでご使用ください。



排水ホースは、排水時の水の力や振動などで動く場合がありますので、排水口にしっかり差し込み抜けないことを確認してください。

お願い

- 敷居などで排水ホースが高くなると、排水できないことがあります。途中の立ち上がりは 15cm 未満にしてください。



- 排水ホースがよじれたり、つぶれたり、浮き上がったたり、コンクリートブロックなどでこすれたりしないように処置してください。

(排水できない、水もれする原因)

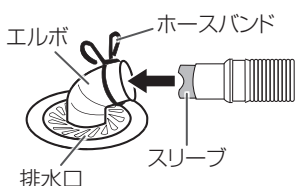


コンクリートブロックなど (ホースが破れるおそれ) (排水が悪くなるおそれ)

排水口がエルボの場合

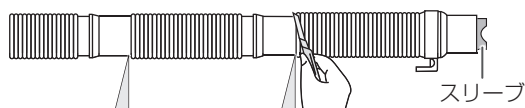
排水ホース先端部をエルボにしっかり差し込み、別売のホースバンドで確実に固定してください。

別売➡P64



- スリーブははずさないでください。

排水ホースが長すぎる場合



本体と排水口の距離に応じて、2カ所のうち、どちらかを切って先端にスリーブをはめ直してください。

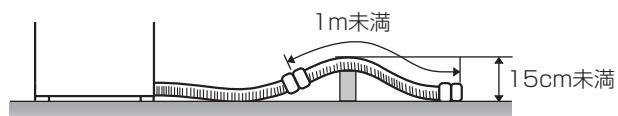
排水ホースを延長する場合

別売の排水ホース補修キットをお買い求めのうえ、取り付けてください。

別売➡P64

排水ホースを延長する場合や途中で高くなる場合は、次の表に従ってください。

排水ホースの状態	排水ホースの高さ	延長ホースの長さ
途中で高くなる場合	15cm 未満	1m 未満
途中で高くない場合	—	3m 未満

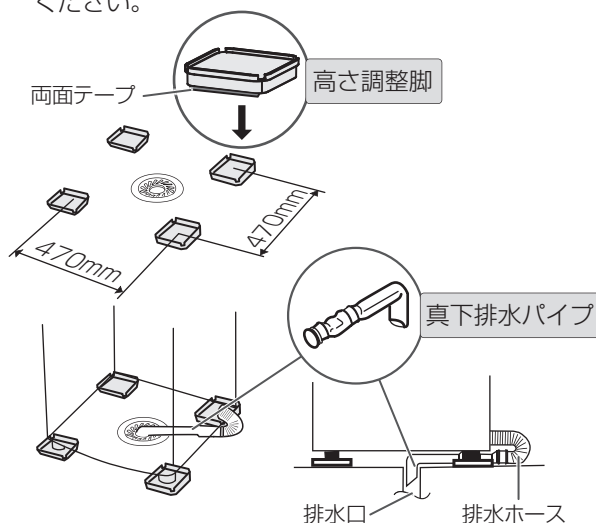


排水口が本体の下にある場合

別売の真下排水パイプと高さ調整脚をお買い求めください。

別売➡P64

※取り付け方法は、それぞれ別売部品の説明書に従ってください。



ご注意

- 本体下の排水口に直接排水ホースを接続することは、内部の回転部品に接触し、ホースの破れや異常音の原因になりますので絶対におやめください。



お願い

- 必ず高さ調整脚を敷いてください。本体が真下排水パイプに乗り上げて異常振動したり、破れて水もれしたりする原因になります。
- 洗濯パンのエルボがある場合は、エルボを取りはずして真下排水パイプをご使用ください。

4

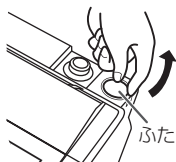
衣類乾燥機(除湿型)と組み合わせるとき

ご注意

- 衣類乾燥機によって、「除湿型衣類乾燥機用排水口」が使えない場合があります。

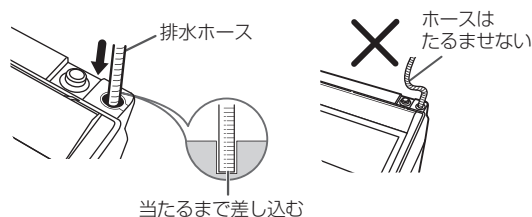
1 本体上面の「除湿型衣類乾燥機用排水口」のふたを取りはずす

- 固い場合は、無理をしないでドライバーなどを差し込んで、上にこじ上げてください。



2 乾燥機の排水ホースが使用中に抜けないようにしっかり排水口の奥まで差し込む

- 差し込みが不十分だと乾燥機の水蒸気が結露することがあります。
- 排水ホースがたるむ場合は、ホースが排水口の奥から浮き上がらないことを確認したうえで切ってください。



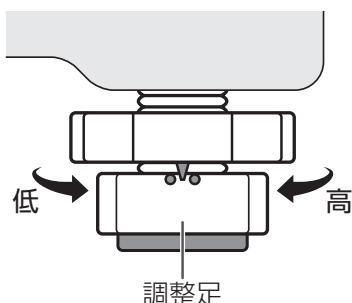
5

水平の確認と調整

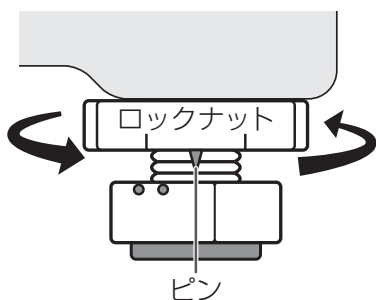
設置場所・設置面の状態により、本体が水平に置けない場合があります。以下の手順に従って、ガタつきをなくし、水平設置を確認してください。

1 ガタつきがないように調整足(前面2カ所)の高さを調整する

- 本体を傾け前面を浮かし、調整足を回してください。



2 ピンをはずして矢印方向にロックナットを回して固定する

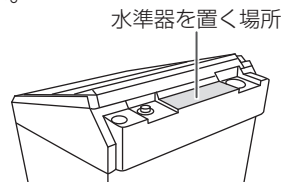


ご注意

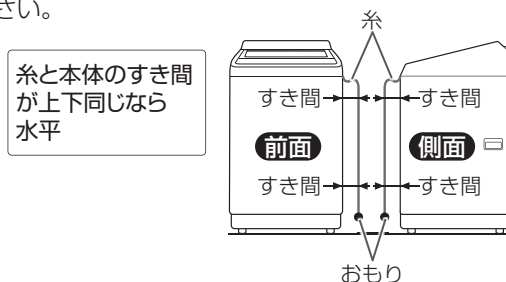
- 水平に設置できていないと本体の移動・異常振動・騒音・水もれ・故障の原因になります。必ず水平になるよう調整してください。

3 水準器で水平度を確認する

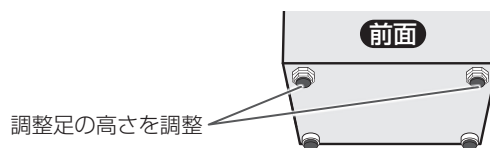
- 水準器は本体後部の平らな箇所に置いてください。



- 水準器がない場合は、おもりを付けた糸を下図のように下げ、前面と側面の水平度を確認してください。



4 水平度に応じ、調整足で調整する



5 本体上端の対角(右前・左後および左前・右後)を押さえて、ガタつきがないか確認する



据え付け

据え付け (つづき)

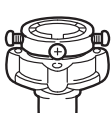
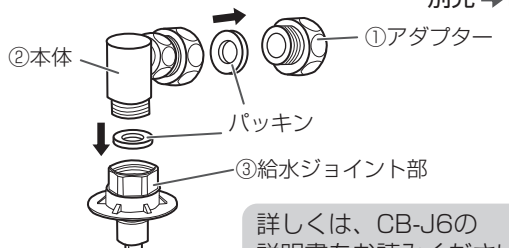
6

給水ホースの取り付け

- 給水ホース・マジックつぎ手は、付属品または当社専用の新品のものを使用してください。
- 水栓にはマジックつぎ手が見えるものと見えないものがありますので、ご注意ください。
- 給水ホースを接続後、水栓を開き、マジックつぎ手や給水口から水もれがないか確認してください。

step1

水栓形状を確認する

横水栓	角口水栓	万能ホーム水栓	自在水栓	カップリング横水栓
	 1.6mm以上必要です			
付属の給水ホースからマジックつぎ手ははずし(「マジックつぎ手を付属のホースからはずす」参照)、取り付けてください。	 → step2	取りはずす	ここから水もれのおそれがあります	取り付けができていてもストッパーが付いていないと使えません
オートストッパー水栓(洗濯機用)		別売の給水栓ジョイント(CB-J6)を取り付けてください。 別売 → P64		
壁埋め込み以外	壁埋め込みタイプ	 ②本体 ①アダプター パッキン ③給水ジョイント部 詳しくは、CB-J6の説明書をお読みください。		
 ツバ オートストッパー付	 ロックレバー引っかけ部	①②③を使用	①③を使用	③を使用
給水ホースのロックレバーが引っかけられない、しっかりと差し込めない、ぐらつくなどの場合は水栓メーカーにご確認ください。		給水栓ジョイント(CB-J6)を取り付けた場合は、付属のマジックつぎ手を使用せず、直接給水ホースを取り付けてください。 → step3		
直接、給水ホースを取り付けてください。 付属のマジックつぎ手は使用しません。 → step3				

給水ホースを取り付ける前に

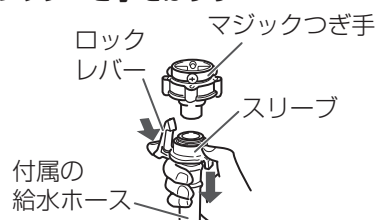
給水栓
ジョイント部

汚れ、カルキ、
さびなど
(水もれの原因)

必ず汚れなどをぬれた布などで拭き取ってください。汚れが取れなかったり、さびや傷がある場合は、水栓を取り替えてください。

マジックつぎ手を 付属のホースからはずす

ロックレバーを押し、スリーブを引き下げて、付属の給水ホースからマジックつぎ手をはずす



本書に記載している別売部品以外は、日本電機工業会規格 JEM1206 に準拠している水栓(オートストッパー付、ツバあり)をお使いください。水栓メーカーの洗濯機用水栓でも適合しないものがあり、水もれのおそれがあります(保証の対象外)。特にツバのないものは使用できません。ご不明な場合は、水栓メーカーにお問い合わせください。

step2

マジックつぎ手を取り付ける

1 ネジ(4本)をゆるめ、マジックつぎ手のゴムパッキンと水栓の先端を垂直に押し当てる

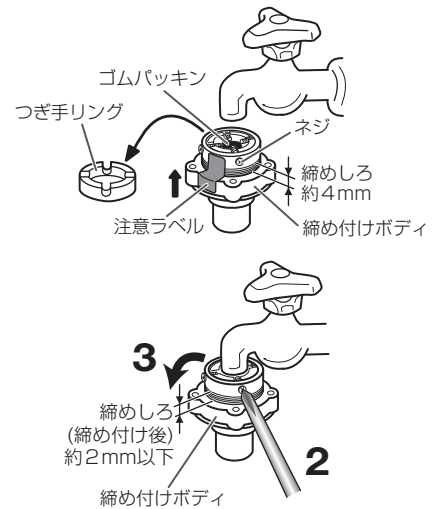
- 水栓の径が大きいときは、つぎ手リングをはずしてください。
- 注意ラベルは締め付けボディをゆるめた状態で貼ってあります。水栓にマジックつぎ手をネジで締め付けるまでは、はがさないでください。

2 水栓の先端がマジックつぎ手の中心になるようにネジを均等にしっかり締め付ける

- 壁側になるネジは前もって調節しておくくと便利です。

3 注意ラベルをはがし、締め付けボディを矢印方向へ回して、締めしろが約2mm以下になるまで強く締め付ける

- 強く締め付けないと水もれするおそれがあります。



ご注意

- 取り付けかた・転居の際の取り替え・長期間の使用でゆるみが生じたなどで、水もれする場合

1 図のように締めしろを約 4mm にゆるめてから、取り付け直してください。

- ゴムパッキンに蛇口の形が付いていたり、劣化していたりする場合

マジックつぎ手を取り替えてください。転居などで取り付け直したときは、特にご注意ください。

- ゆるみ・ぐらつき・傾きがないか、確認してください。
- 今までお使いのマジックつぎ手があっても、必ず新品と取り替えてください。

お願い

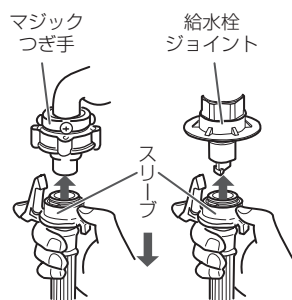
- 水栓の形状が合わないときや取り付けができないとき、水もれが発生するときはお買い上げの販売店または水道工事店にご相談ください。

step3

給水ホースを取り付ける

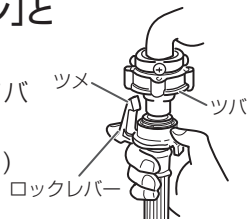
水栓側

1 スリーブを引き下げたままマジックつぎ手(または給水栓ジョイント / オートストッパー水栓)に差し込む



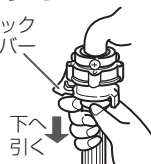
2 スリーブを離し、「パチン」と音がするまで差し込む

- ロックレバーのツメをツバに引っかけてください。(はずれると水もれの原因)



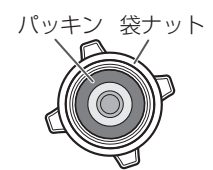
3 給水ホースを下へ引き、完全に取り付けができているか確認する

- ロックレバーと本体が接触しない位置で取り付けてください。(はずれると水もれの原因)



本体側

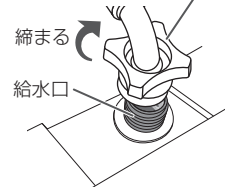
- 袋ナット内のパッキンに異物が付着していたり、パッキンが斜めに取り付けられていたりしていないことを確認してください。(水もれの原因)



1 袋ナットの先を給水口にあてがう

2 袋ナットを傾きのないように確実に締め付ける

(傾いて取り付けると水もれの原因)



- 最後にもう一度、袋ナット・ホースの両方を持ち、90 ~ 180 度ほど増し締めしてください。
- 取り付け後に給水ホースを動かす場合は、袋ナットがゆるまないように固定して動かしてください。

ご注意

- 転居などで取り付け直したときは、特にご注意ください。
- 給水ホースを接続後、水栓を開き、給水ホースの接続部から水もれがないか確認してください。

据え付け (つづき)

6

給水ホースの取り付け(つづき)

給水ホースをはずす場合

水栓を閉じるだけでは水が飛び散りますので、次の手順を必ずお守りください。

1 水栓を閉じ、**電源切/入** 電源を入れる

2 **コース** 「おしゃれ着」を選ぶ

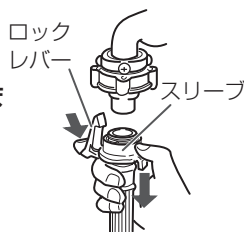
3 **スタート一時停止** スタートし、

すぐに **電源切/入** 電源を切る

- 給水ホース内の水を抜き、水圧を下げて水の飛び散りを防ぐためです。

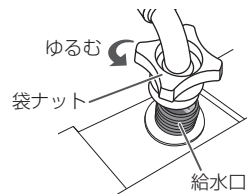
4 **水栓側**

ロックレバーを押し、スリーブを引き下げたまま給水ホースをはずし、給水ホース内の残水をバケツなどで受ける



5 **本体側**

袋ナットをゆるめてはずす



給水ホースを延長する場合

お買い上げの販売店にご相談のうえ、別売の給水延長ホースをお買い求めください。 別売➡P64

7

アース・電源 アース工事は有料です

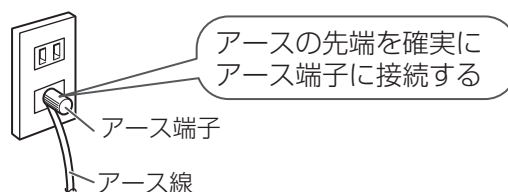
警告

アースを確実に取り付ける
(故障・漏電による感電の原因)

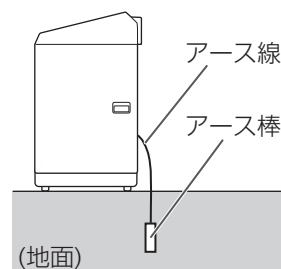
- 漏電ブレーカーの取り付けをおすすめします。詳しくはお買い上げの販売店または電気工事店にご相談ください。
- アースの付けはずしは、電源プラグをコンセントから必ず抜いて行ってください。
- 設置場所の変更や転居の際にも、アースの取り付けを必ず行ってください。

定格15A以上・交流100Vのコンセントを単独で使う
電源プラグは根元まで確実に差し込む
(火災・感電の原因)

コンセントにアース端子がある場合



コンセントにアース端子がない場合



法令により電気工事士によるD種接地工事が必要です。お買い上げの販売店または電気工事店にご依頼ください。

お願い

- ガス管・電話線や避雷針・水道管には接続しないでください。(法令などで禁止されています)

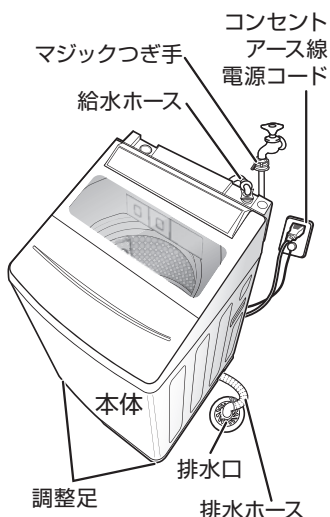
設置確認

底カバー

- ☐ 底部から手足が入る場合、底カバーを取り付けていますか。

排水ホース

- ☐ 排水できますか。
- ☐ 排水ホースの先端がふさがれていませんか。
- ☐ 排水口が本体の下にある場合、別売の真下排水パイプと高さ調整脚を使用していますか。
- ☐ 排水ホースの立ち上がりは15cm未満ですか。
- ☐ 排水ホースによじれ・つぶれ・浮き上がり・こすれはありませんか。
- ☐ 排水ホースや接続部などから水もれしていませんか。



本 体

- ☐ 水準器などにより本体を水平に設置しましたか。
- ☐ 本体の上端を対角(右前・左後、または左前・右後)に押さえて、ガタつきはありませんか。
- ☐ 調整足はしっかり締まっていますか。



給水ホース

- ☐ 給水ホース・マジックつぎ手は新品を使用しましたか。
- ☐ マジックつぎ手にゆるみ・ぐらつき・傾きがありませんか。
- ☐ 給水ホースの袋ナットは斜めにならないように締めてありますか。
- ☐ 袋ナットが強く締まっていますか。
- ☐ 給水ホースにねじれや折れ曲がりはありませんか。
- ☐ 給水ホースの接続に余裕がありますか。
- ☐ 水栓側および本体の給水ホース接続部から水もれしていませんか。

アース・電源

- ☐ アースは確実に取り付けられていますか。
- ☐ 定格15A以上・交流100Vのコンセントを単独で使っていますか。
- ☐ 電源コードを製品本体で踏みつけたり、はさみ込んだりしていませんか。
- ☐ 電源コード・アース線が本体に接触していませんか。

試 運 転

- ☐ 試運転で、異常音や水もれはありませんか。正常に排水されていますか。

試 運 転

①給水→②洗い→③排水→④脱水 運転(約8分)を行います。

- 洗濯・脱水槽内には、何も入れないで次の手順で試運転をしてください。
- 水もれ・給排水の不具合・異常な音・本体のガタつき・揺れないことを確認してください。

1 水栓を開き、上ぶたを閉める

2 電源「入」の状態

洗い と すぎ を押しながら

スタート 一時停止 を約3秒間押し続ける

- 「ピッ」と鳴り、**88** を表示します。

3 スタート 一時停止 スタートする

- 試運転を開始し、水量「22L」、残時間「8分」を表示します。

残り
合 8 L
強水流 杯 分

約8分後、ブザーが鳴り運転が終了します。

- 異常な音・ガタつき・揺れはでていませんか。設置状態にガタつきはありませんか。
- 水もれはありませんか。給水ホース・排水ホースの接続部から水滴がにじんでいませんか。

異常時には、エラー表示とブザー音でお知らせします。
こんな表示がでたら→P62~63

一時停止後、エラーの原因を取り除きスタートすると運転を継続します。

故障かな？

修理依頼やお問い合わせの前に、以下をご確認ください。

状 態		原 因 / 調べるところ
本 体	運転しない	- 電源プラグをコンセントにしっかり差し込んでいますか。 - 電源が入っていますか。 「スタート/一時停止」ボタンを押しましたか。 - 予約中ではないですか。 - 水栓を開いていますか。 - 停電していませんか。 - ご家庭のヒューズ・ブレーカーが切れていませんか。
	運転中や電源を切っても 操作パネル部が熱を持っている	部品の放熱作用によるものです。故障ではありません。
洗 い・ すす ぎ	給水前に パルセーターが回転する	洗濯量を検知しているためです。 布量検知 ➡ P12
	少ない水量で パルセーターが回転する	「標準」「自分流」「念入り」「2度洗い」「ジェルボール」コースでは、高濃度の洗剤液を繊維の奥まで浸透させるため、少ない水量からかくはんが始まります。 浸透濃縮行程 ➡ P12 「おいそぎ」「ふとん・毛布」コースでは洗濯時間の短縮と洗濯液を衣類に吸収させるために少ない水量から「洗い」が始まります。
	途中で給水する	- 水量や洗濯物の状態を検知し、うまく洗濯できるように補給水機能がはたらいたためです。以下の原因が考えられます。 - 洗濯物を後から追加した。 - 水量が減り、それを自動的に補う機能がはたらいた。 - 洗濯物の布回りをよくする機能がはたらいた。 - 柔軟剤を自動的に追加した。
	注水すすぎなのに ためすすぎになる	- 給水量が多い場合は、洗濯・脱水槽からあふれるのを防ぐため、ためすすぎになります。 - 注水すすぎははじめにためすすぎをします。
	すすぎからスタートすると 給水しない	排水→脱水してから、すすぎの給水を始めます。
	スタートしても すぐに運転が始まらない	布量検知後に洗剤を入れるための時間を設けています(約1分程度)。上ぶたを閉めた後、「スタート」ボタンを2回押すとすぐに運転が始まります。
脱 水	始めから高速で脱水しない	脱水を効果的に行うために、徐々に回転数を上げて運転しています。
	脱水の途中で すすぎになる (給水する)	洗濯物が片寄ると、片寄りを修正するためにすすぎを行い、再度脱水をします。

状 態		原 因 / 調べるところ
脱 水	自分流コースで脱水が設定できない	風乾燥を記憶していると脱水の設定ができません。「風乾燥」の表示を消灯させてから「脱水」を設定してください。
	脱水が弱いと感じる	- 洗濯物の種類により、絞り具合が変わります。お好みで脱水時間を延長してください。➡ P36 - いつも弱いと感じるときは、「脱水時間の延長」➡ P42 を設定してください。
風 乾 燥	乾きが悪い	- 洗濯物の量・種類、室温・湿度、設置環境などにより仕上り具合が変わります。タイマー式のため、乾きに関係なく終了します。乾き具合に応じて風乾燥を追加設定してください。 - ヒーターを使わないため、洗濯物が冷たく、乾いていないように感じる場合があります。
	運転が終了しても乾いていない	- 洗濯量が多すぎませんか。化繊混紡の衣類で3kg以下にしてください。洗濯量を少なめにすると、風乾燥の効果が上がります。 - 脱水が不十分な洗濯物を入れていませんか。 - 化繊混紡以外の衣類が混ざっていませんか。 風乾燥をする ➡ P34
水 量	洗濯物の量に対する水量の表示がおかしい 同じ量を洗っているのに水量表示が違うことがある	- 水量は、洗濯量で決まります。化繊など軽いものが多いときに水量を少なく表示したり、ぬれた洗濯物を入れたときに多く表示したりすることがありますが、故障ではありません。布量検知 ➡ P12 - 水量が毎回少ない、または多いと感じる場合は、多めまたは少なめに調節することができます。自動で決まる水量を増やしたい／減らしたい ➡ P41
時 間	洗濯時間が長い	- 洗剤を入れすぎていませんか。泡立ちが多いと、運転時間が長くなります。 - 所要時間は、給水量毎分15Lで計算しています。15L以下であれば、長くなります。 - あらかじめ水が入っているときや水量をお好みで設定したときは、所要時間が変わることがあります。
	残時間表示が途中で変わる	残時間表示は、水道水圧・排水・脱水状態などにより、補正しながら表示しているため、変わることがあります。
風 呂 水	風呂水を吸水しない 風呂水が正しく吸水できないときは、自動的に水道水に切り換わり、運転を継続します。	「風呂水」ボタンを押して、風呂水使用行程を設定しましたか。 - 吸水つぎ手は風呂水吸水口に確実に差し込まれていますか。 ➡ P38 - 風呂水吸水ホースを巻いたまま使っていませんか。 ➡ P38 - 風呂水吸水ホースの折れ曲がり・つぶれ・変形・破れ・ひび割れがありませんか。 - 風呂水吸水ホースの最も高い位置から水面までの高さが1.0m以上ありませんか。 ➡ P38 - 浄化フィルターやポンプフィルターにゴミがたまっていませんか。 ➡ P48 - 浄化フィルターが浴槽の水の中に入っていますか。 - 浴槽の中に残り湯がありますか。 - 発泡・ゼリー・とりみタイプの入浴剤を使っていませんか。 ➡ P39 - 購入後、初めて風呂水を使うとき、呼び水をしましたか。 ➡ P39

故障かな？（つづき）

修理依頼やお問い合わせの前に、以下をご確認ください。

状 態		原 因 / 調べるところ
音	運転終了後に「ジー」と音がる	凍結防止（残水排水）設定をしている場合は、凍結を防ぐため、排水バルブの水抜き音がします。 凍結防止方法 ➡ P43
	脱水終了後に「シャー」「チャプチャプ」と音がる	本体の振動をおさえるために、洗濯・脱水槽上部に入っている液体の音です。脱水終了後や洗濯・脱水槽を手でゆらしたときに「シャー」「チャプチャプ」という音がすることがありますが異常ではありません。
	給水が止まるたびに「コンコン」「ゴン」と音がる（ウォーターハンマー現象）	給水が止まるとき、水道管内の圧力が急激に変化することにより音が発生します。本体の故障ではありません。水栓の開き具合を調節すると音を抑えることができる場合があります。それでも直らない場合は、水道専門業者にご相談ください。
臭い	異臭がする	- 排水口にたまった汚れの臭いが逆流することがあります。集合住宅などで排水口に臭気防止用トラップがない場合は、本体・洗濯物に臭いがつくことがあります。 処置 - 定期的に排水口を掃除してください。 ➡ P49 - 臭気防止用トラップがない場合は、トラップを設置してください。 - 洗濯・脱水槽に付着している汚れなどにより臭いが発生する場合があります。 処置 - 洗濯槽クリーナーを使用し、「槽洗浄（12時間）」でお手入れしてください。 ➡ P45 - 洗濯時に「カビケア／槽乾燥」を設定すると、臭いの発生を防ぐことができます。 ➡ P14 - 使わないときは上ぶたを開放し、洗濯・脱水槽の水分を取り除いてください。
自動投入	自動投入されない	- 自動投入しない設定になっていませんか。自動投入ランプが消灯しているときは自動投入しません。 ➡ P17 - 自動投入タンクの残量が少なくなっていないですか。 ➡ P15 - 経路が詰まっていませんか。 ➡ P46 「おしゃれ着」「ジェルボール」コースは洗剤の自動投入をしません。 ➡ P22～23
手動投入	洗剤が投入されない	- キャップ（手動投入容器・液体洗剤用ケース）や液体洗剤用ケースは、底につくまでしっかり押し込んでいますか。 - 手動投入容器は確実に奥まで押し込んでいますか。
	柔軟剤がすぐ流れ出る	手動投入容器の「MAX」位置よりも多く柔軟剤を入れていませんか。サイフォン現象により流れ出ます。 ➡ P19
	手動投入容器に水が残る	- キャップ（手動投入容器・液体洗剤用ケース）や液体洗剤用ケースは、底につくまでしっかり押し込んでいますか。 - 手動投入容器は確実に奥まで押し込んでいますか。 - 手動投入容器は汚れていませんか。洗剤や柔軟剤等が付着していると容器内に水が残ることがあります。 ➡ P47
お手入れ機能	「カビケア」が設定できない	「すすぎ」と「脱水」をなしに設定すると「カビケア」は設定できません。
	「槽乾燥」が設定できない	「槽乾燥」は「カビケア」を設定した場合のみ、設定できます。 ➡ P14 - 洗濯・脱水槽の乾燥を行いたい場合は、洗濯物を入れずに「風乾燥」60分の運転をしてください。 ➡ P35

状 態		原 因 / 調べるところ
振動・騒音	騒音が気になる 振動が大きい	• 本体が傾いたり、ガタついたりしていませんか。 水平の確認と調整 ➡ P53 • 洗濯物が片寄っていませんか。一時停止し、片寄りを直し再スタートしてください。 • 洗濯ネットに厚手の衣類を入れていませんか。 • ふとんや毛布を大物洗い用洗濯ネット(CN-3)に入れずに洗濯していませんか。 ➡P32~33 • 硬貨やヘアピンなどの異物が紛れ込んでいませんか。
	据え付け時や初めて使用するとき 排水ホース接続口から 水が出る	• 工場での検査時の残水で故障や不良ではありません。
その他	上ぶたが開けられない	• チャイルドロックを設定していませんか。 ➡P26
	衣類が黄変する	• 水道水のさび・石けんや洗剤の残り、色移りなどにより、乾燥後に黄変することがあります。塩素系漂白剤・還元型漂白剤をお使いください。
	糸くずの付着が気になる	• すすぎ回数を増やしたり、注水すすぎをおすすめします。 お好み設定 ➡P37 • 水量を多めに設定してください。 ➡P41 • 糸くずフィルターを掃除してください。 ➡P47 • 「糸くずの付着が気になる衣類」 ➡P11
	洗濯終了後上ぶたを閉めると 洗濯・脱水槽の回転が始まる	• 「カビケア／槽乾燥」を設定していませんか。 ➡P14
	終了ブザーが鳴らない	• 終了ブザー音を消す設定になっていませんか。 ➡P42
	泡があふれる	• 洗剤や漂白剤を入れ過ぎていませんか。入れ過ぎると泡立ちが多くなり、上ぶたなどに泡が付着したり、床などがぬれることがあります。 • 洗剤の自動投入を設定しているとき、手動投入容器などにも洗剤を入れていませんか。
	マジックつぎ手（水栓側） から水もれする	• 水栓やマジックつぎ手のゆるみやさび・傷などがあると水もれのおそれがあります。水道専門業者にお問い合わせください。 • 水栓やマジックつぎ手からもれた水が給水ホースを伝い、本体から水もれしているように見えることがあります。
	洗濯の途中なのに 運転が止まってしまった	• 上ぶたが閉まっていますか。 • 脱水時に洗濯・脱水槽の中で洗濯物が片寄っていませんか。 • お好み設定方法を間違えていませんか。 • 「槽洗浄」運転中ではありませんか。（長時間つけおきをします。） 以上の原因でないときは「こんな表示がでたら」 ➡P62～63をご確認のうえ、お買い上げの販売店にご相談ください。

故障かな？

こんな表示がでたら

表示／状態

調べるところ

処置

E1
給水しない

- ・ 水栓を開いていますか。
- ・ 給水口の網にゴミなどが詰まっていますか。 ➡P49
- ・ 凍結していませんか。 ➡P43
- ・ 断水していませんか。
- ・ 井戸水を使っていませんか。 ➡P5

E2
排水しない

- ・ 排水ホースを倒していますか。
- ・ 排水ホースがつぶれていませんか。
- ・ 排水ホースの立ち上がりは15cm未満になっていますか。 ➡P52
- ・ 延長ホースの長さは適切ですか。 ➡P52
- ・ 排水ホースを排水口に差し込みすぎて、排水ホースの先端がふさがれていませんか。 ➡P52
- ・ 排水口(フィルターやトラップ部)に糸くずなどが詰まっていますか。 ➡P49
- ・ 凍結していませんか。 ➡P43

U3
脱水しない

- ・ 洗濯物が片寄っていませんか。
- ・ 洗濯ネットに厚手の衣類を入れていませんか。
・ チャイルドロック設定中は解除してから確認してください。
- ・ 本体が傾いたり、ガタついたりしていませんか。 ➡P53
- ・ 排水ホースを排水口に差し込みすぎて、排水ホースの先端がふさがれていませんか。 ➡P52
- ・ 排水ホースを正しく取り付けてください。(「E2」の内容を確認してください。)
- ・ 排水口(フィルターやトラップ部)に糸くずなどが詰まっていますか。 ➡P49
- ・ 洗濯物を取り出さずに「槽乾燥」をしていませんか。 ➡P14

U4
運転しない
(一時停止している)

- ・ 上ぶたが開いていませんか。

U5
排水に時間がかかる

- ・ 排水ホースや排水口が詰まっていますか。 ➡P49・52

U6
洗いのときに風呂水を
正しく吸水しない

自動的に水道水に切り換わり運転を継続し、終了後に異常報知します。

- ・ 吸水つぎ手は風呂水吸水口に確実に差し込まれていますか。 ➡P38
- ・ 風呂水吸水ホースを巻いたまま使っていないですか。 ➡P38
- ・ 風呂水吸水ホースの折れ曲がり・つぶれ・変形・破れ・ひび割れがありませんか。
- ・ 風呂水吸水ホースの最も高い位置から水面までの高さ1.0m以上ありませんか。 ➡P38
- ・ 浄化フィルターやポンプフィルターにゴミがたまっていますか。 ➡P48
- ・ 浄化フィルターが浴槽の水の中に入っていますか。
- ・ 浴槽の中に残り湯がありますか。
- ・ 発泡・ゼリー・とろみタイプの入浴剤を使っていないですか。 ➡P39
- ・ 購入後、初めて風呂水を使うとき、呼び水をしましたか。 ➡P39

洗いすぎ1

風呂水を
正しく吸水しない

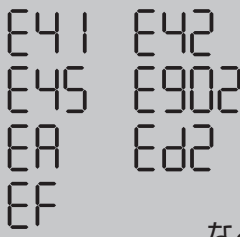
選んでいる風呂水表示を点滅しながら、自動的に水道水に切り換わり運転を継続します。

一時停止後、
異常原因を取り除き、
スタートする

上ぶたを閉める

一時停止後、
異常原因を取り除き、
スタートする

運転終了後、
異常原因を取り除く

表示／状態	調べるところ	処置
 上ぶたが開かない	・チャイルドロックを設定していませんか。➡P26	
 運転後表示する	・凍結防止(残水排水)を設定していませんか。➡P43	
その他の表示  など	制御部品の点検や修理が必要です。 電源プラグをコンセントから抜き、水栓を閉じて お買い上げの販売店に連絡し、点検・修理を依頼して ください。	

修理を依頼する前に 初期化をお試しください

本体が、外部からの雑音や妨害ノイズの影響を受けて、正常に作動しない場合があります。次の手順に従い初期化を行ってください。購入時の設定内容に戻ります。

初期化の方法

- 
電源を入れる
- 
約5秒間押し続ける
 ・「ピー」と鳴り、初期化が完了
- 
電源を切る

もう一度電源を入れて、
動作を確認してください。

なお、異常があるときは、内部を触らずに
電源プラグをコンセントから抜き、水栓
を閉じてお買い上げの販売店、または当社
修理相談窓口 ➡P66にご連絡ください。

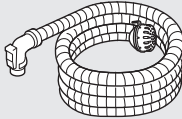
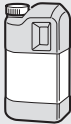
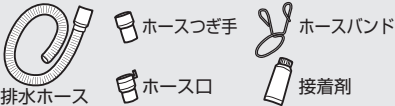
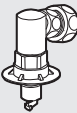
お願い

- ・故障などで、洗濯途中の洗濯物を長期間放置すると色落ち、色移りすることがあります。
洗濯物は手洗いなどをしてください。

別売部品

お買い上げの販売店でお求めください。

希望小売価格は2025年3月現在

部品名	部品コード・品番	希望小売価格
大物洗い用洗濯ネット 	CN-3 301 0 2169 20500	3,850円(税込)
風呂水吸水ホース 	【4m】0030808726 【7m】0030808726A	2,200 円 (税込) 2,420 円 (税込)
フィルター(細)・(粗) (風呂水吸水ホース用) (消耗部品) 	【細】6351192234 【粗】6351192241	220 円 (税込) 220 円 (税込)
糸くずフィルター 抗菌 (消耗部品) (抗菌 試験結果 ➡ P7) 	LINT-57 0030825290	880円(税込)
洗濯槽クリーナー 	SWCLEAN-2 0530068324	2,310円(税込)
洗濯機トレイ 露付きによる床のぬれ防止用に 幅660×奥行660×高さ32mm(外寸) 	TRAY-5 301 2 4134 21400	7,700円(税込)
ホースバンド (排水ホース用) 	301 2 3341 19900	220円(税込)
真下排水パイプ 排水口が本体真下中央部に あるときに 	● HW-PIPE-2 (商品扱い) ● SW-PIPE-1 (サービス扱い) 301 0 3224 00100	1,320円(税込)
高さ調整脚(4個セット) 真下排水パイプを使用するときに 本体の高さが約20mm高くなります。 2個(約40mm)まで重ねられます。 	HW-KYAKU-ASW (商品扱い)	660円(税込)
排水ホース補修キット 排水ホースを延長するときに 長さ1.34m 	S114755	1,870円(税込)
給水栓ジョイント 水もれ防止機能付き ※水栓形状によっては、取り付けできないものがあります。 詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。 	CB-J6 301 0 3470 25000	2,640円(税込)
給水延長ホース 	【1m】301 0 3275 24900 【2m】301 0 3275 25000 【3m】301 0 3275 25100	1,870円(税込) 2,420円(税込) 2,860円(税込)

仕様

仕様は製品改良のため、予告なく変更することがあります。

	AQW-VP10A	AQW-VP9A	AQW-VP8A
種類	全自動電気洗濯機		
洗濯方式	うず巻式		
外形寸法	幅590×奥行590×高さ1042 (mm)		
製品質量	42kg		
電源	100V・50Hz-60Hz共用		
電動機の定格消費電力	370W (50-60Hz)		
標準洗濯容量	10.0kg (乾燥布質量)	9.0kg (乾燥布質量)	8.0kg (乾燥布質量)
標準脱水容量			
標準水量	55L	53L	51L
標準使用水量(標準コース)	103L	97L	90L
使用水道水圧	0.03~1MPa(0.3~10kgf/cm ²)		
運転音(約)	洗い時：35dB 脱水時：38dB		

風呂水ポンプ(本体内蔵)

揚水量	11L/分(吸い上げ高さ1.0m・ホース4mのとき)
-----	----------------------------

- 品番の()内記号は色記号です。
- 待機時消費電力(電源を「切」にした状態の電力)は、^{ゼロ}0です。
- 標準洗濯・脱水容量は、JIS(日本産業規格)で規定された布地で乾燥状態の場合です。
- 運転音は、日本電機工業会自主基準「洗濯機性能評価基準」による表示です。

保証とアフターサービス

保証書(裏表紙)

「販売店・お買い上げ日」などの記入をお確かめのうえ、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

修理を依頼されるとき

➡P62~63に従って調べてください。直らないときは内部機構を触らずに電源プラグをコンセントから抜き、水栓を閉じ、お買い上げの販売店にご相談ください。

ご連絡いただきたい内容	
製品名	全自動電気洗濯機
品番	
お買い上げ日	年 月 日
お名前	
ご住所・電話番号	
故障の内容	できるだけ具体的に

- ◆保証期間中は
保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。
- ◆保証期間をすぎている場合は
修理により使用できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。
- ◆保証期間内であっても、お客さまの誤使用で故障した場合は、有料修理となります。
- ◆修理料金の仕組み 修理料金は、次の内容で構成されています。

技術料	診断、修理、調整、点検などの費用です。
部品代	修理により使用した部品および補助材料代です。
出張料	ご依頼により、技術者を派遣する費用です。

補修用性能部品の保有期間

電気洗濯機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後6年です。
・補修用性能部品…その製品の機能を維持するために必要な部品

外国での保証は

この商品を使用できるのは、日本国内のみで、国外では使用できません。また、アフターサービスもできません。
This appliance is designed for domestic use in Japan only and can not be used in any other countries. No servicing is available outside of Japan.

転居されるときは

転居によりお買い上げの販売店のアフターサービスが受けられなくなる場合は、事前に販売店にご相談ください。

一般家庭用以外の目的でご使用になるとき

美容院、美容院、ホテルなどでの業務用使用、寮や病院など共同使用により1日の使用時間が一般家庭に比べて多い場合は、短期間で部品(モータ・軸受などの機構部品)の交換が必要になることがあります。また、耐久年数も減少します。
このようなご使用は、保証期間の対象になりません。
お買い上げの販売店にご相談のうえ、業務用機器をお使いになることをおすすめします。

別売部品

仕様

保証とアフターサービス

お客さまご相談窓口

■まずはお買い上げの販売店へ…

家電商品の修理のご依頼やご相談および部品のご購入は、お買い上げの販売店へお申し出ください。
転居や贈答品でお困りの場合は、下記の相談窓口にお問い合わせください。

家電商品についての全般的なご相談

〈アクア 株式会社〉

受付時間：（365日）9：00～18：30

総合相談窓口

固定電話  0120-880-292
携帯電話  0570-040-292（有料）
FAX  0570-013-790（有料）

家電商品の修理サービスについてのご相談

〈アクア 株式会社〉

受付時間： 月曜日～金曜日 9：00～18：30
土曜・日曜・祝日 9：00～17：30

修理相談窓口

固定電話  0120-778-292
携帯電話  0570-030-292（有料）

お客さまご相談窓口におけるお客さまの個人情報のお取り扱いについて

お客さまご相談窓口でお受けした、お客さまのお名前、ご住所、お電話番号などの個人情報は適切に管理いたします。また、お客さまの同意がない限り、業務委託の場合および法令に基づき必要と判断される場合を除き、第三者への開示は行いません。なお、お客さまが当社にお電話でご相談、ご連絡いただいた場合には、お客さまのお申し出を正確に把握し、適切に対応するために、通話内容を録音させていただくことがあります。

<利用目的>

- お客さまご相談窓口でお受けした個人情報は、商品・サービスに関わるご相談・お問い合わせおよび修理の対応のみを目的として用います。なお、この目的のためにアクア株式会社および関係会社で上記個人情報を利用することがあります。

<業務委託の場合>

- 上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては当社と同等の個人情報保護を行わせると共に、適切な管理・監督をいたします。個人情報のお取り扱いについての詳細は、当社ホームページをご覧ください。 <https://aqua-has.com/privacy/>

廃棄時に ご注意ください

家電リサイクル法では、お客さまがご使用済みの洗濯機を廃棄される場合は、収集・運搬料金と再商品化等料金（リサイクル料金）をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

愛情点検 長年ご使用の洗濯機の点検を！



こんな症状は
ありませんか

- 電源コード・プラグが異常に熱い。
- 洗濯・脱水槽が止まりにくい。
- 水もれがする。（ホース、マジックつぎ手）
- こげくさい臭いや運転中に異常な音や振動がする。
- 本体に触るとビリビリ電気を感じる。
- その他の異常や故障がある。

ご使用
中止

このような症状のときは、故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜き、水栓を閉じて必ず販売店に点検をご相談ください。



この製品は法律で表示を義務づけられた特定の化学物質^{【注1】}を含有していません^{【注2】}。

（JIS C 0950「電気・電子機器の特定の化学物質の含有表示方法」に従って表示しております）

【注1】「鉛及びその化合物」、「水銀及びその化合物」、「カドミウム及びその化合物」、「六価クロム化合物」、「ポリブロモビフェニル」及び「ポリブロモジフェニールエーテル」の6種類の化学物質

【注2】対象の化学物質の含有率が基準値以下であることを意味します。また、除外項目は対象としておりません。

<https://aqua-has.com/about/jmoss/>

Memo

アクア 株式会社

〒103-0012 東京都中央区日本橋堀留町1丁目11番12号

0030520803